
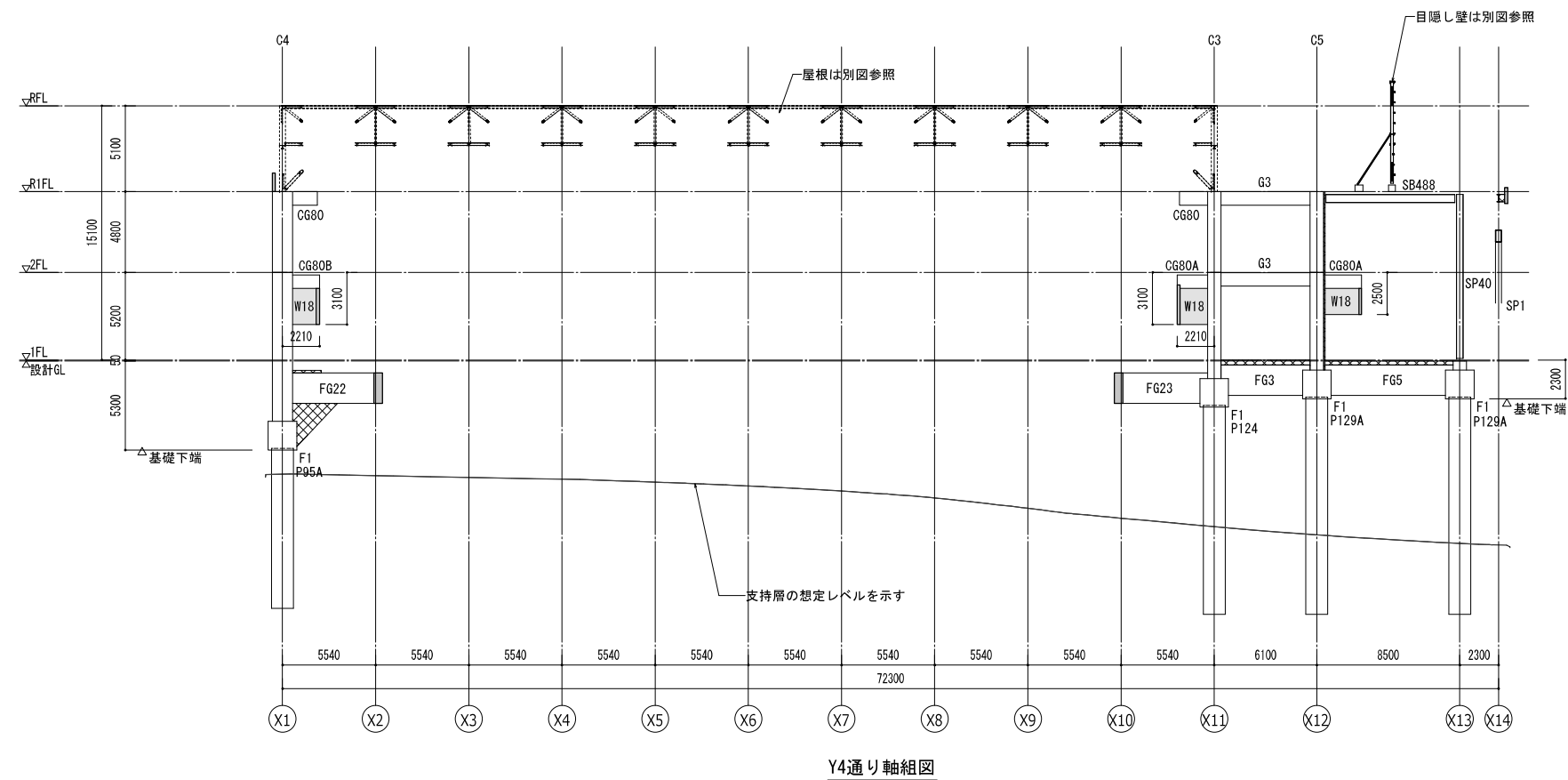
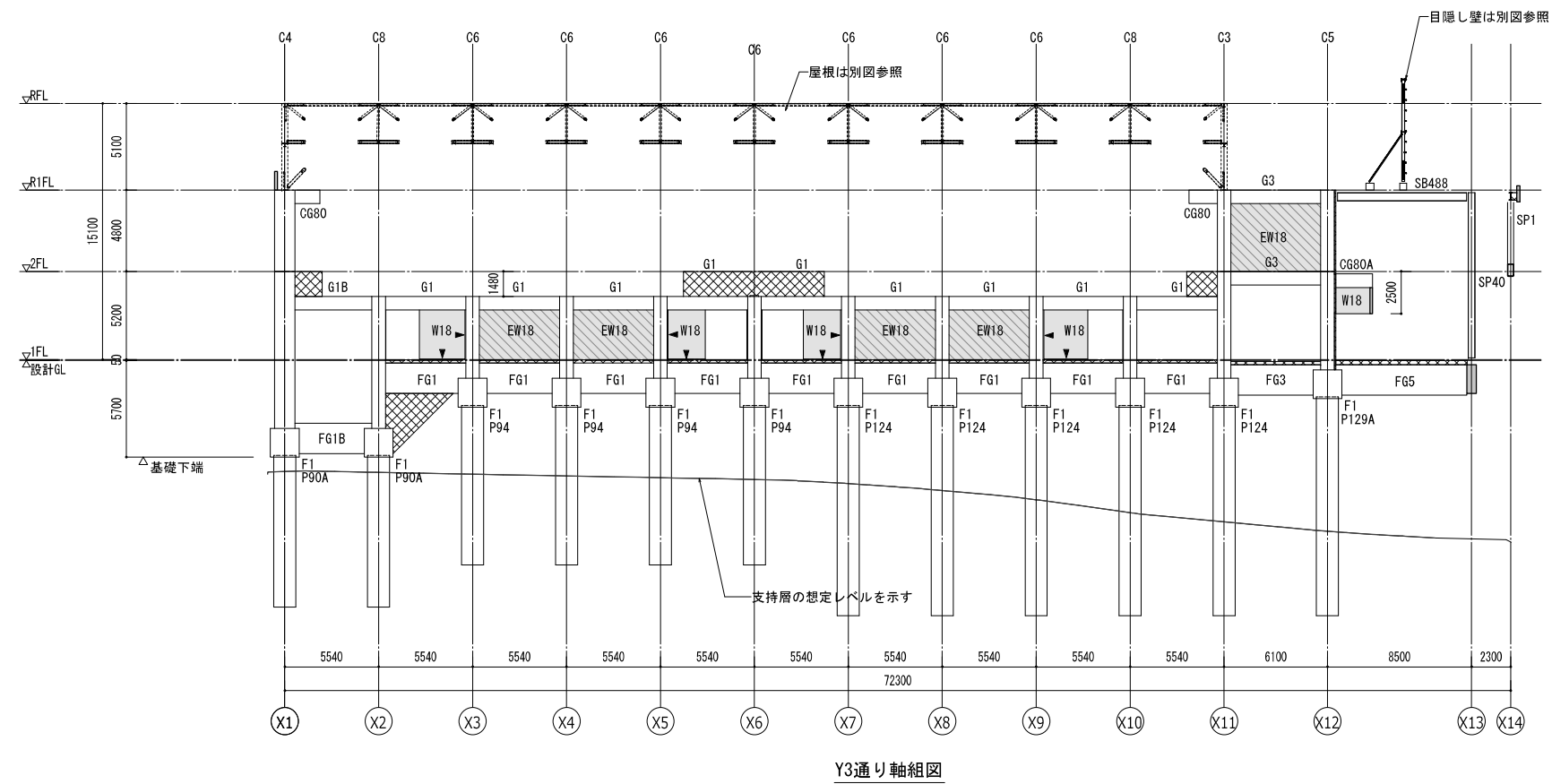


特記事項 特記なき限り下記とする


- ・ ▼ は耐震スリットを示す。
- ・  は増打ちを示す。
- ・ R1FL=2FL+4800とする。

履歴	完成図作成 (受注者名)	完成図承諾	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号	法適合確認 設備設計一級建築士 証文付番号 第11279号	製作日	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆	設計者 一級建築士 大臣登録第70830号 山田 和生 担当者	業務名称 (仮称)福智町総合体育館新築工事	業務契約コード 108557-02	図面番号 S-32-1	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
ver. 20191114	日付 監理技術者 担当者	日付 監理者 担当者	構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号	設備設計一級建築士 証文付番号 第11279号	2025.03.31 ファイル名	日付 2025.03.31	日付 2025.03.31	図面名称 軸組図(1)	縮尺 A1 1:200 A3 1:400		

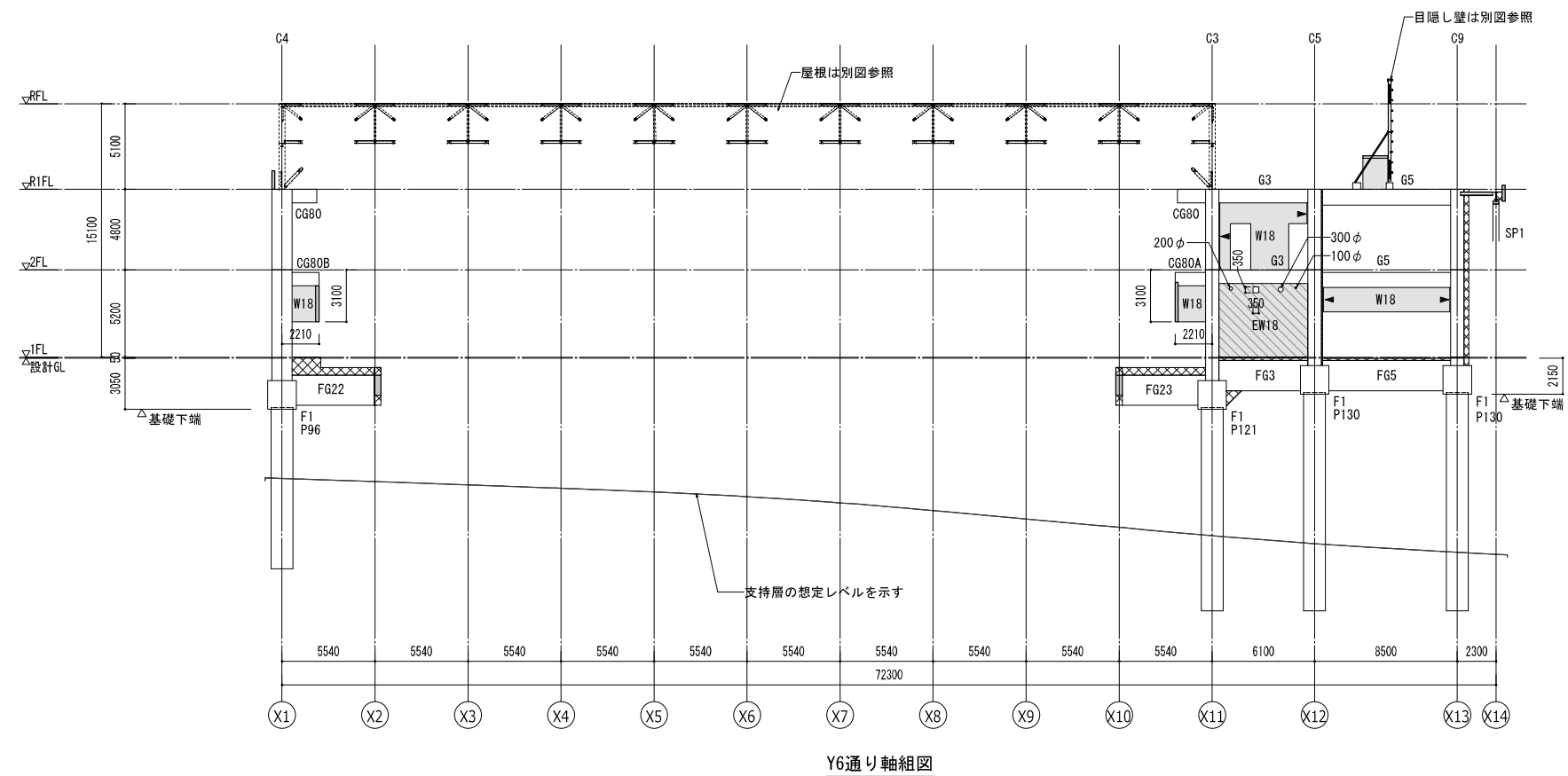
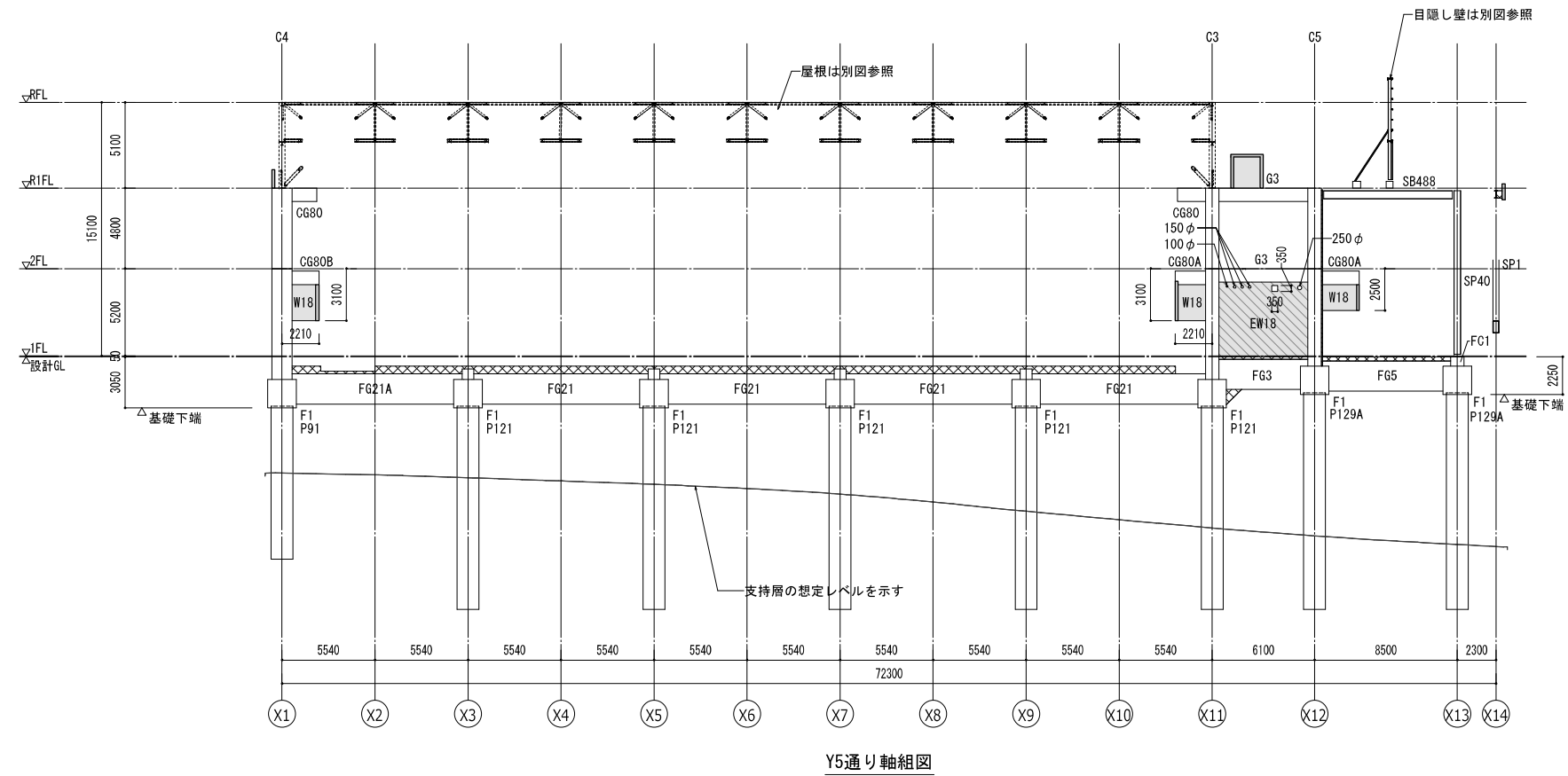


特記事項 特記なき限り下記とする

・ ▼ は耐震スリットを示す。

- ・  は増打ちを示す。

・ R1FL=2FL+4800とする。

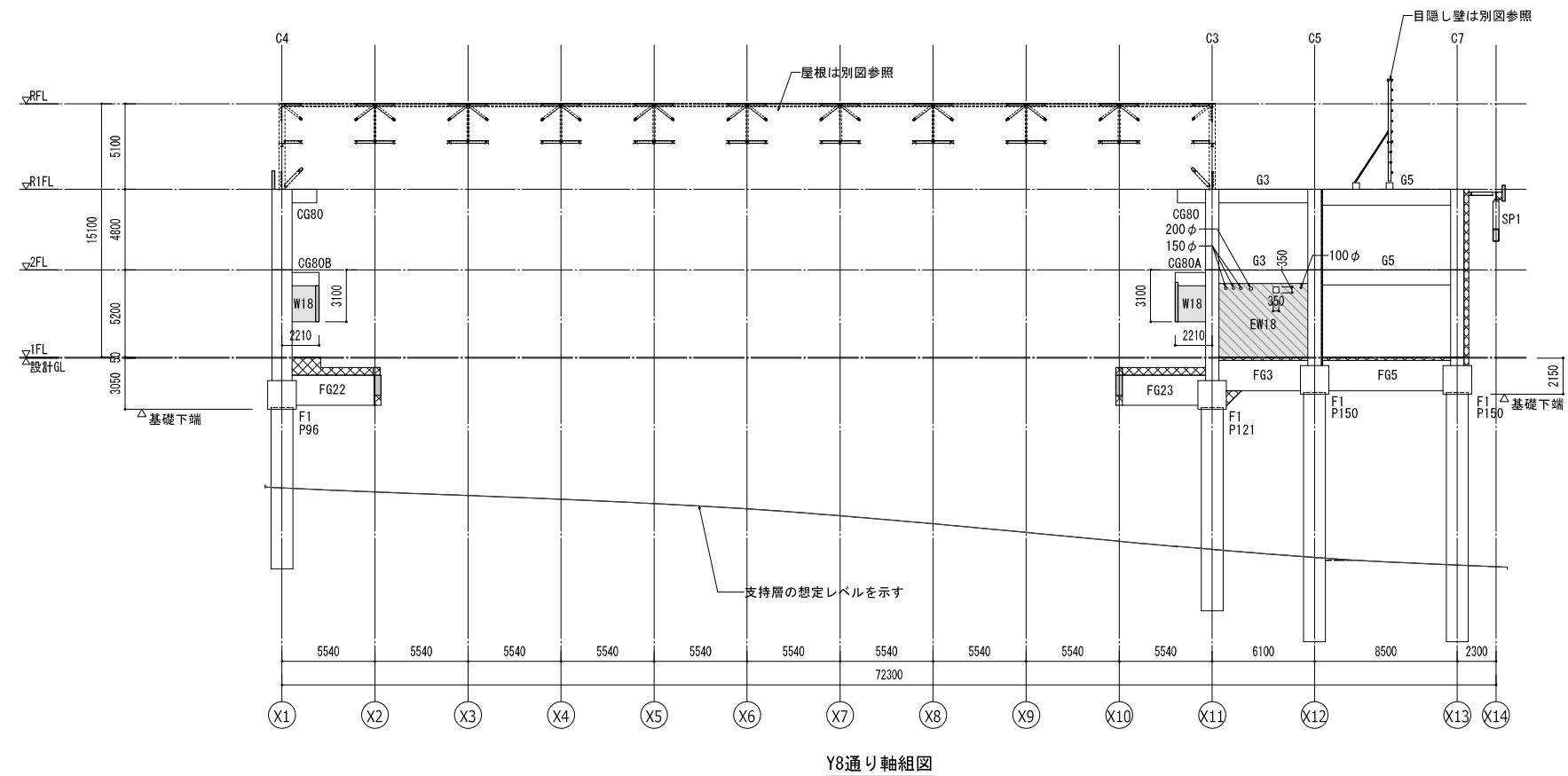
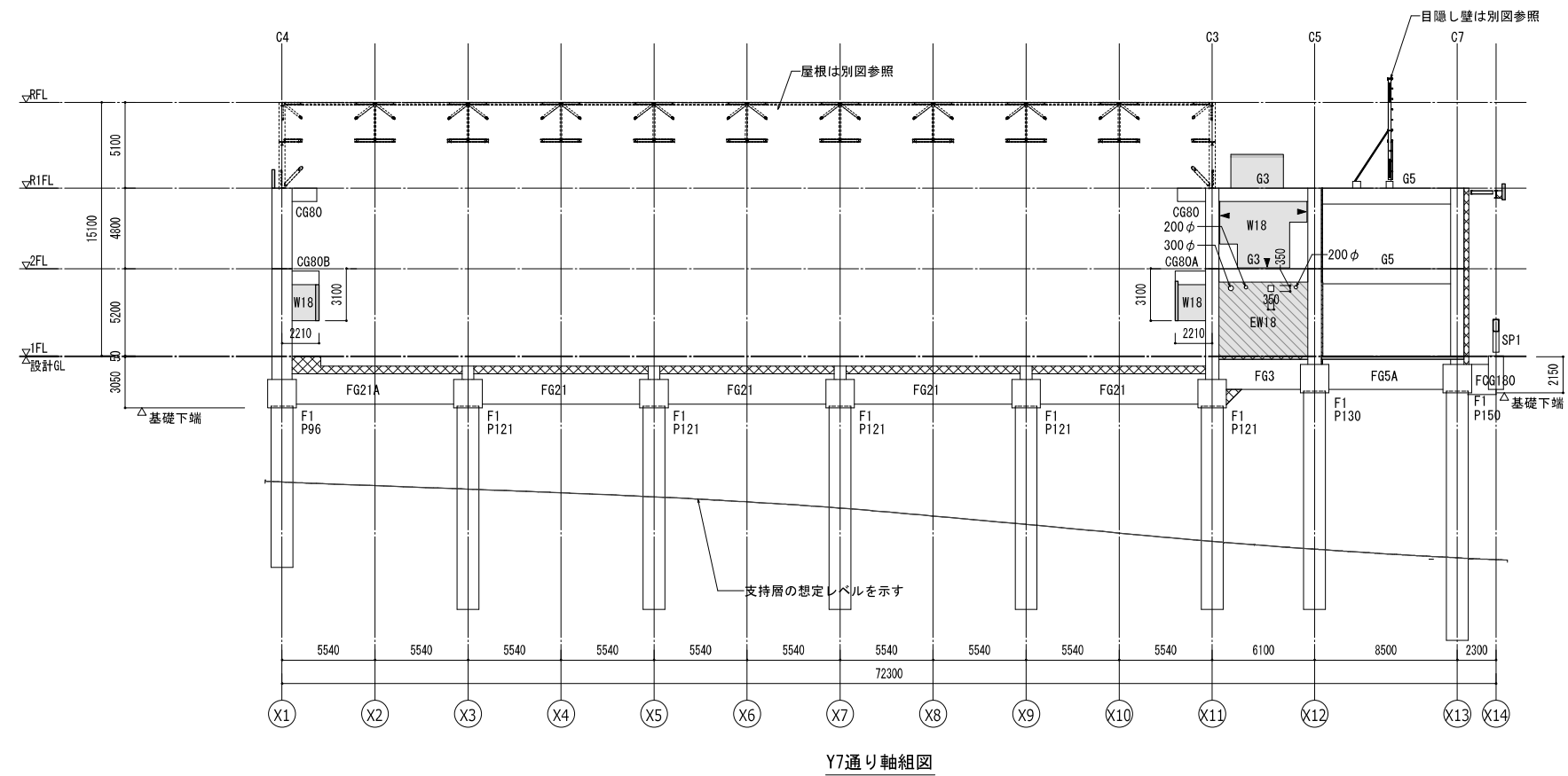


特記事項 特記なき限り下記とする

・ ▼ は耐震スリットを示す。


- ・ は増打ちを示す。

・ $R1FL=2FL+4800$ とする。

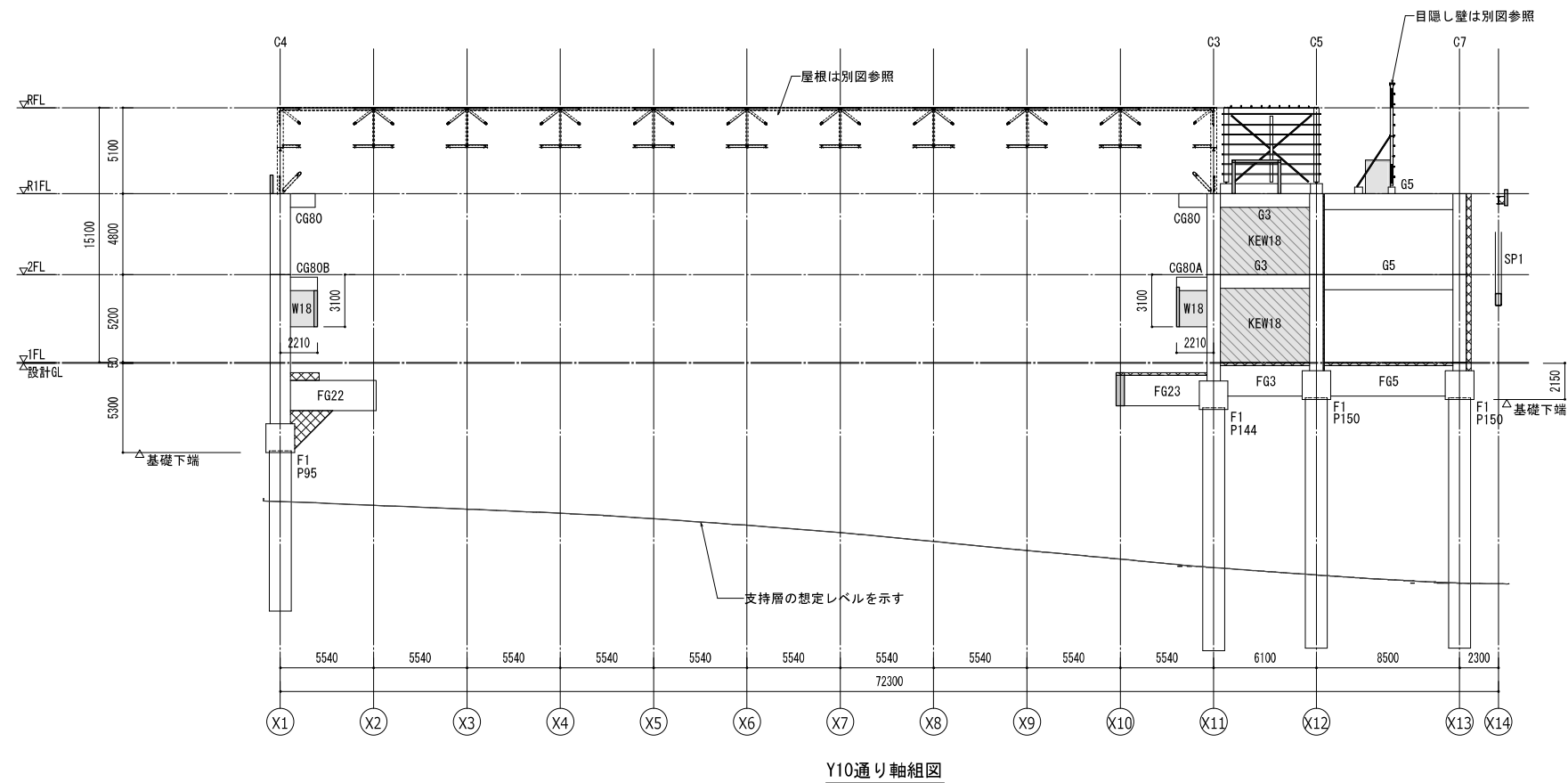
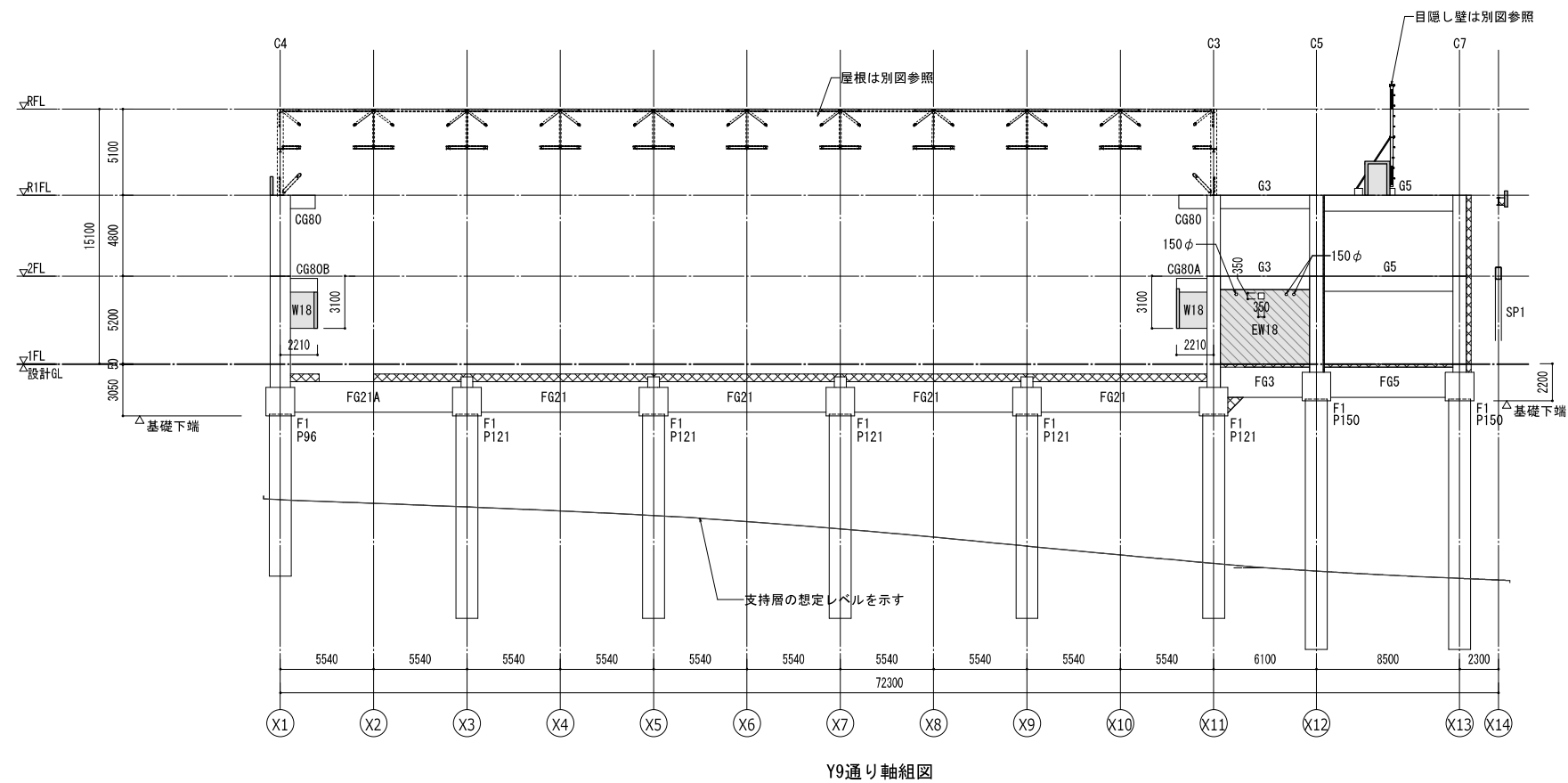


特記事項 特記なき限り下記とする

・ ▼ は耐震スリットを示す。


- ・  は増打ちを示す。

・ $R1FL=2FL+4800$ とする。

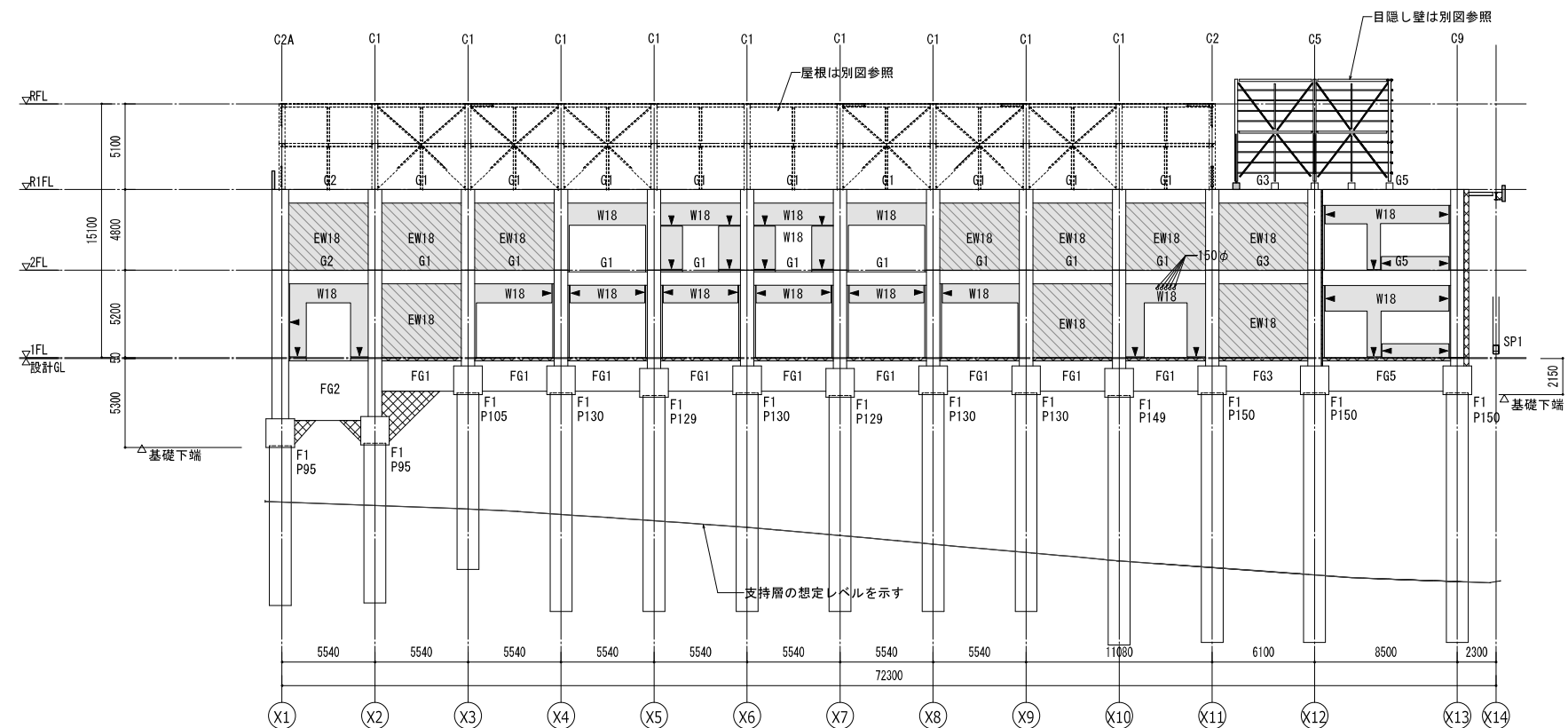
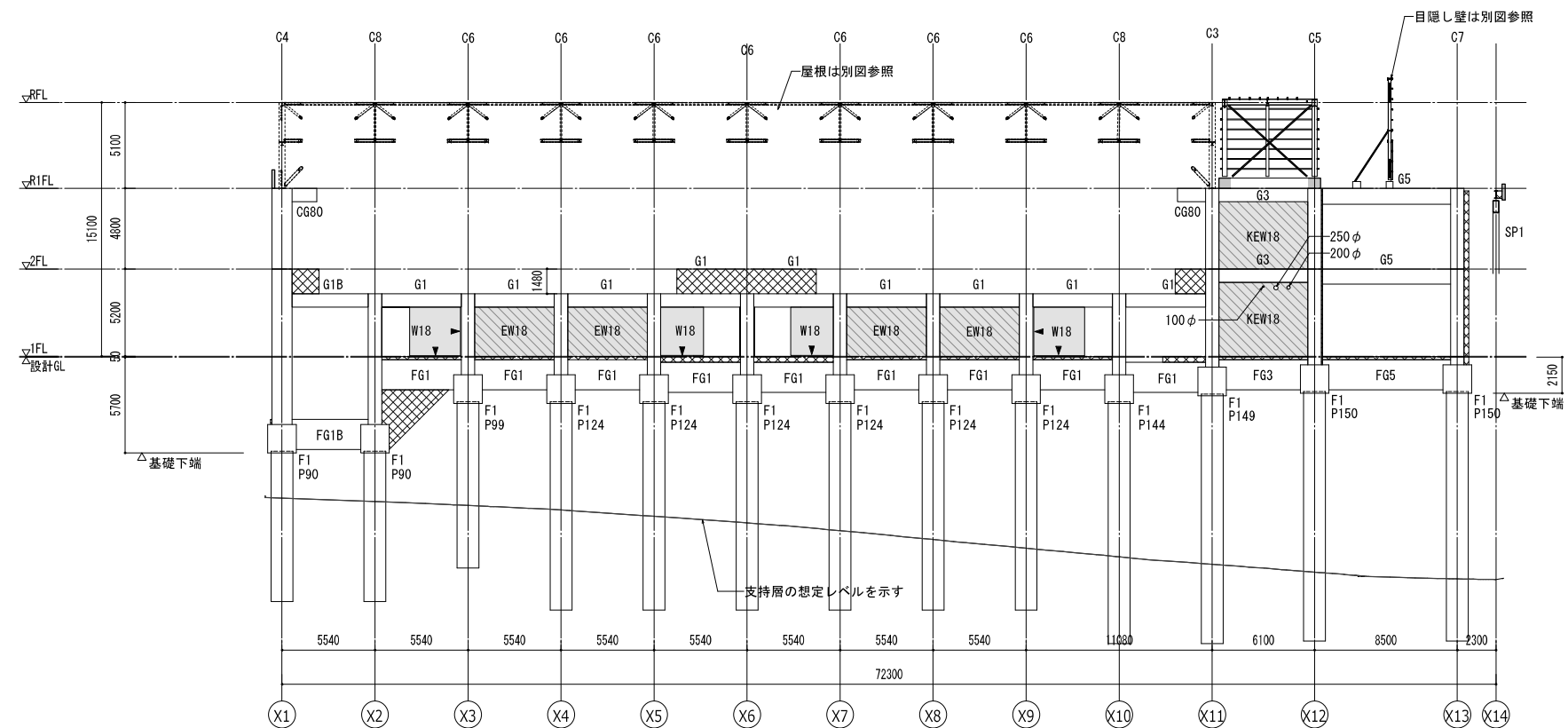


特記事項 特記なき限り下記とする

- ・ ▼ は耐震スリットを示す。


- ・  は増打ちを示す。

・ $R1FL=2FL+4800$ とする。

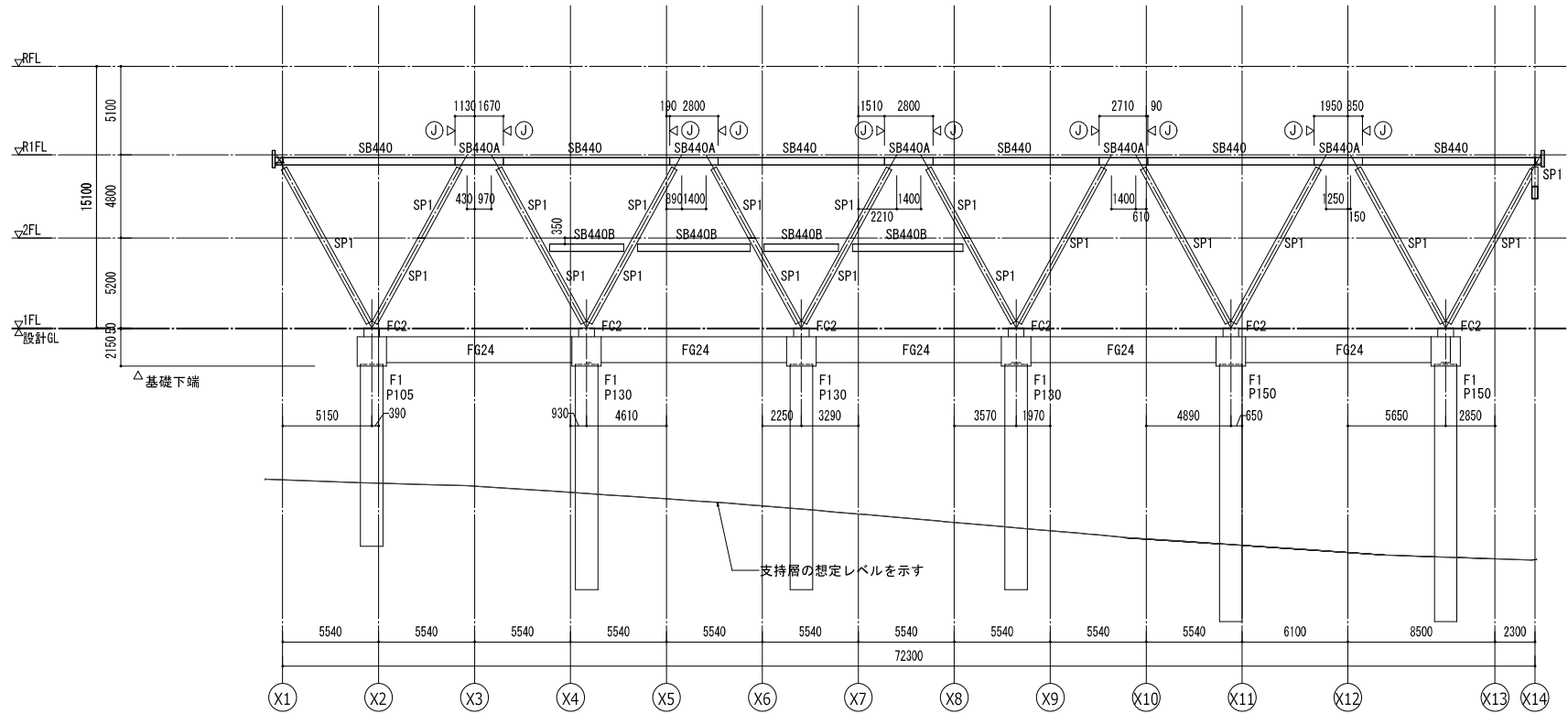


特記事項 特記なき限り下記とする

・ ▼ は耐震スリットを示す。

- ・  は増打ちを示す。

・ R1FL=2FL+4800とする。

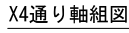
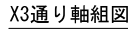
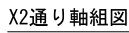
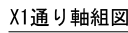



Y13通り軸組図

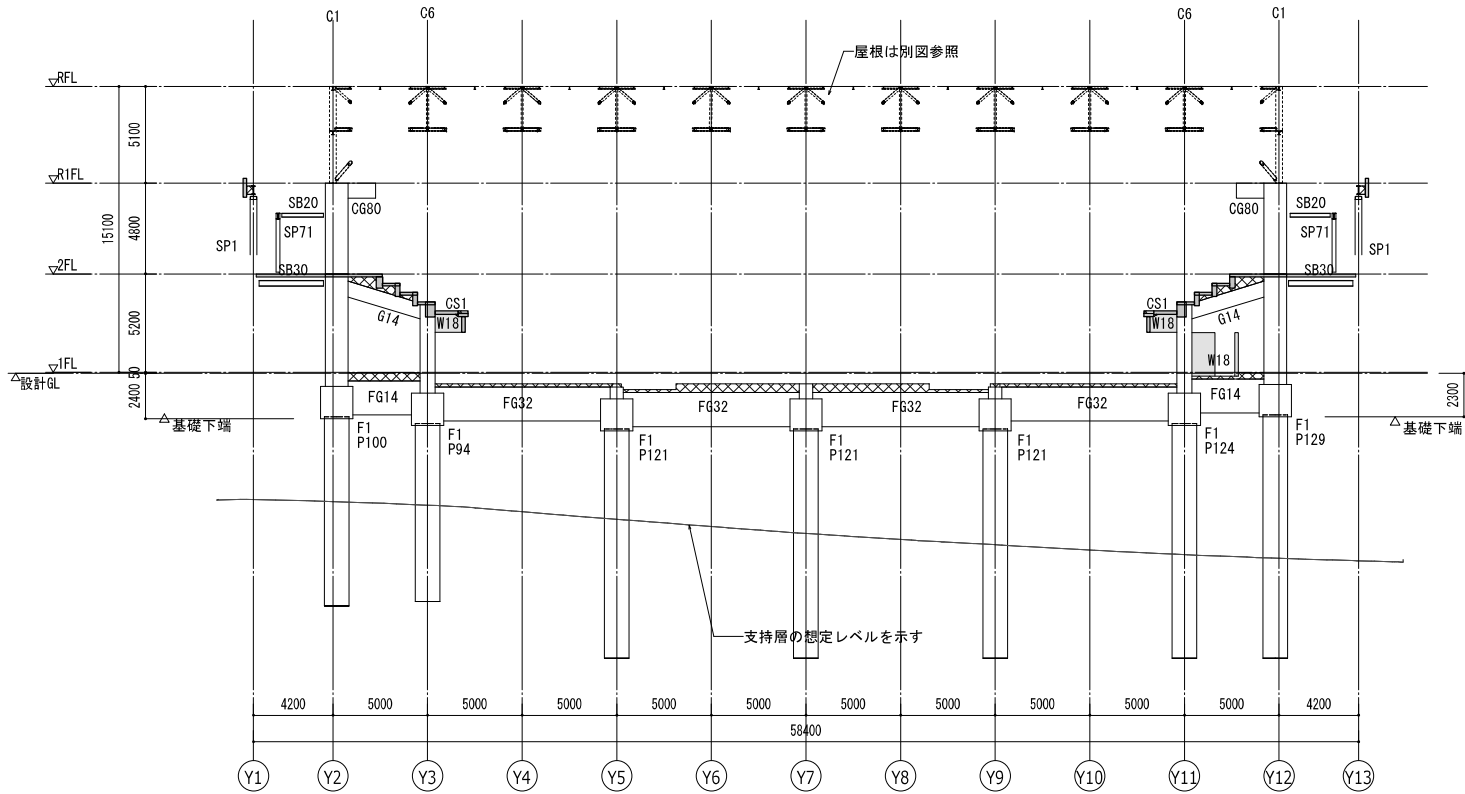
特記事項 特記なき限り下記とする

- ・▼は耐震スリットを示す。
- ・は増打ちを示す。
- ・ R1FL=2FL+4800とする。

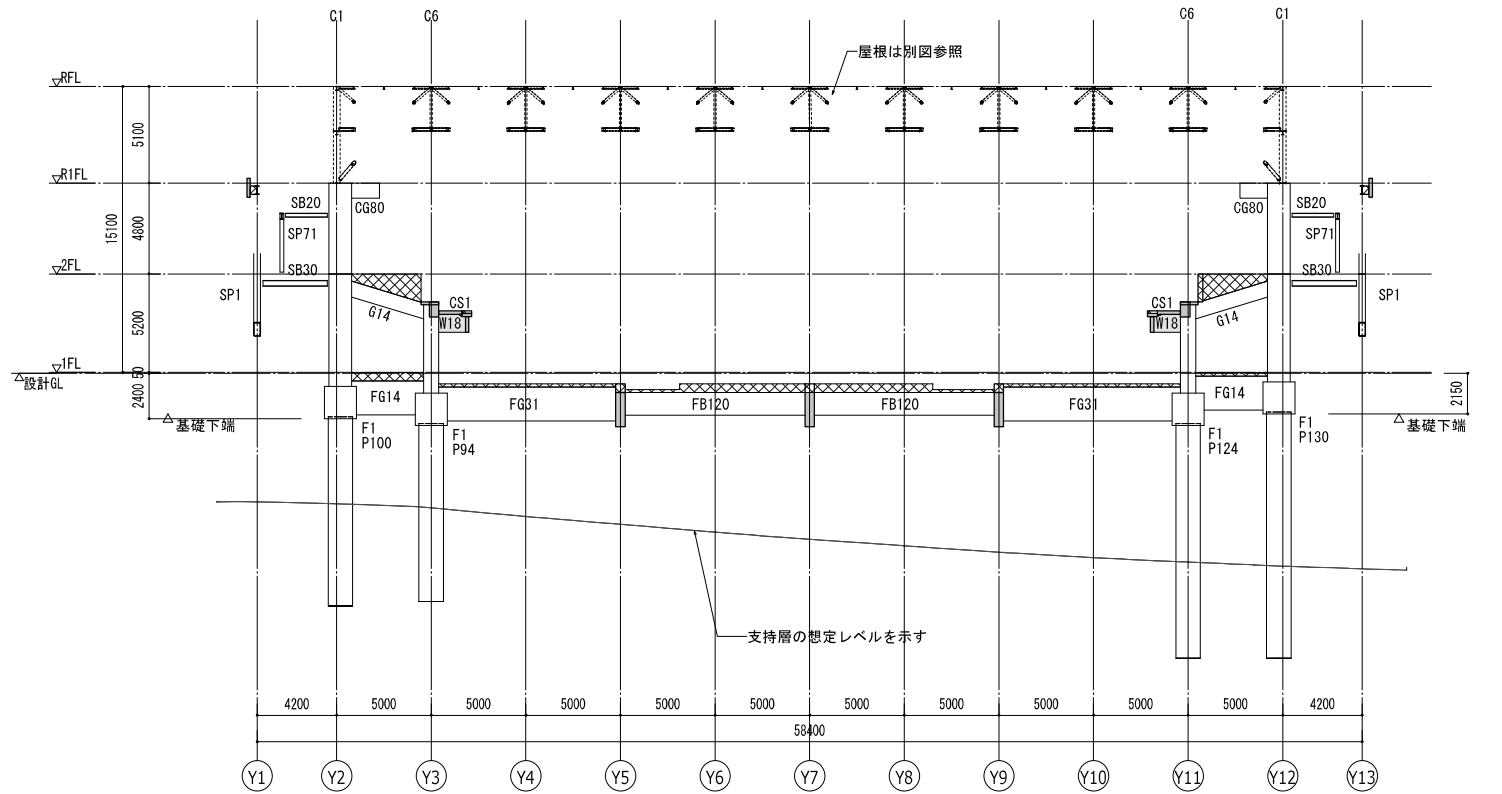
<div>石本建築事務所</div> <div>ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.</div>	履歴		完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、 構造関係規定に適合することを確認した。	法適合確認 設備設計一級建築士 証文付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、 設備関係規定に適合することを確認した。	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆 日付 2025.03.31	設計者 一級建築士 大臣登録第370830号 山田 和生 担当者	業務名称 (仮称)福智町総合体育館新築工事	業務契約コード 108557-02	図面番号 S-32-7	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
	監理技術者		担当者	担当者	構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号	設備設計一級建築士 証文付番号				縮尺 A1 1:200 A3 1:400			
	ver. 20191114									図面名称 軸組図(7)			



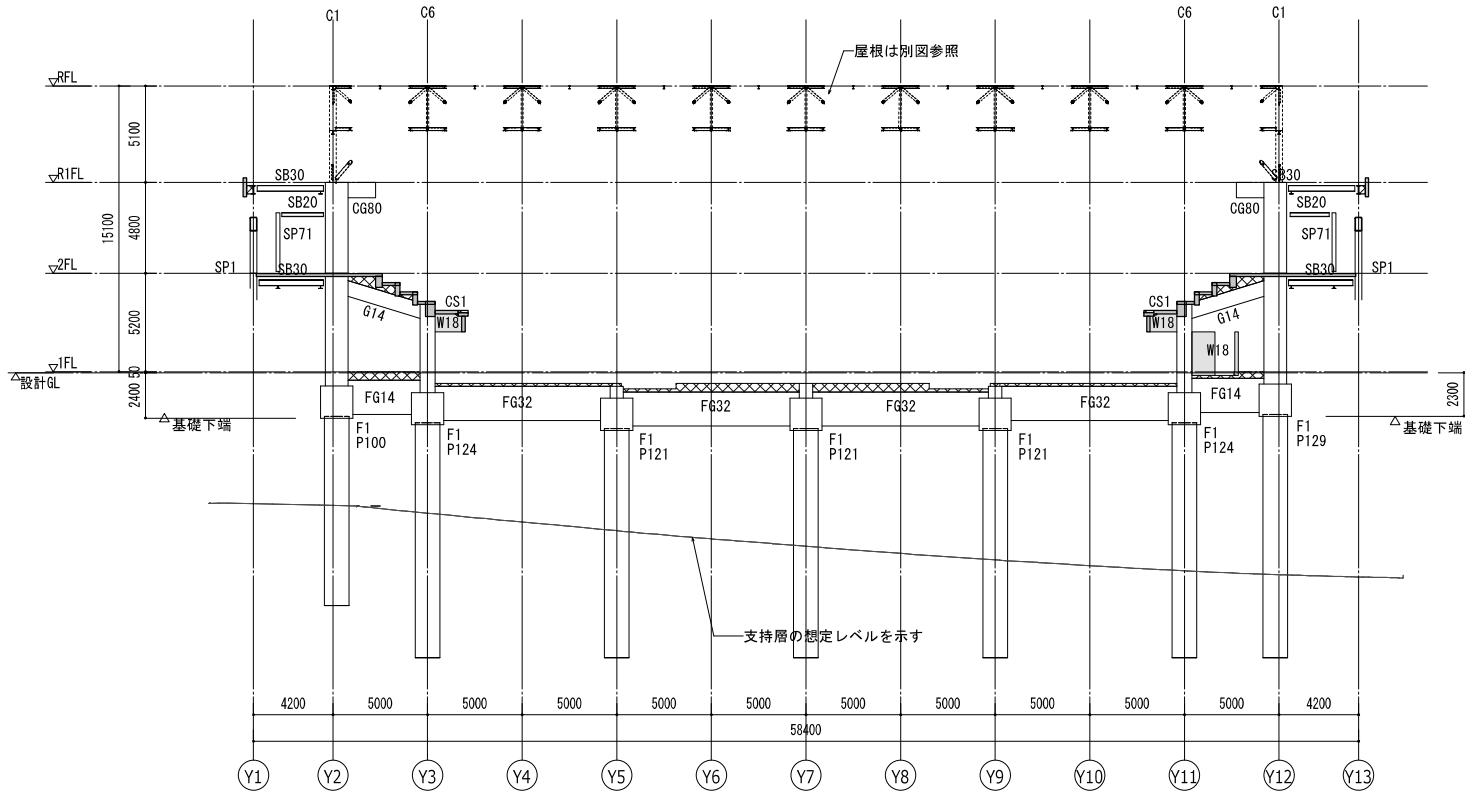
<div>石本建築事務所</div> <div>ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.</div> <div>ver. 20191114</div>	<div>履歴</div> <div>完成図作成 (受注者名)</div> <div>日付</div> <div>監理技術者</div> <div>担当者</div>	<div>完成図承諾</div> <div>日付</div> <div>監理者</div> <div>担当者</div>	<div>法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、 構造関係規定に適合することを確認した。</div> <div>構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号</div>	<div>法適合確認 設備設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、 設備関係規定に適合することを確認した。</div> <div>設備設計一級建築士 山田 和生 証交付番号</div>	<div>製作日</div> <div>2025.03.31</div> <div>ファイル名</div>	<div>代表設計者</div> <div>一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆</div> <div>日付</div> <div>2025.03.31</div>	<div>設計者</div> <div>一級建築士 大臣登録第370830号 山田 和生 担当者</div>	<div>業務名称</div> <div>(仮称)福智町総合体育館新築工事</div> <div>業務契約コード</div> <div>108557-02</div>	<div>図面名称</div> <div>軸組図(8)</div> <div>縮尺</div> <div>A1 1:200 A3 1:400</div>	<div>図面番号</div> <div>S-32-8</div>	<div>管理建築士</div> <div>一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆</div>
---	---	--	---	---	---	---	--	---	--	-----------------------------------	---



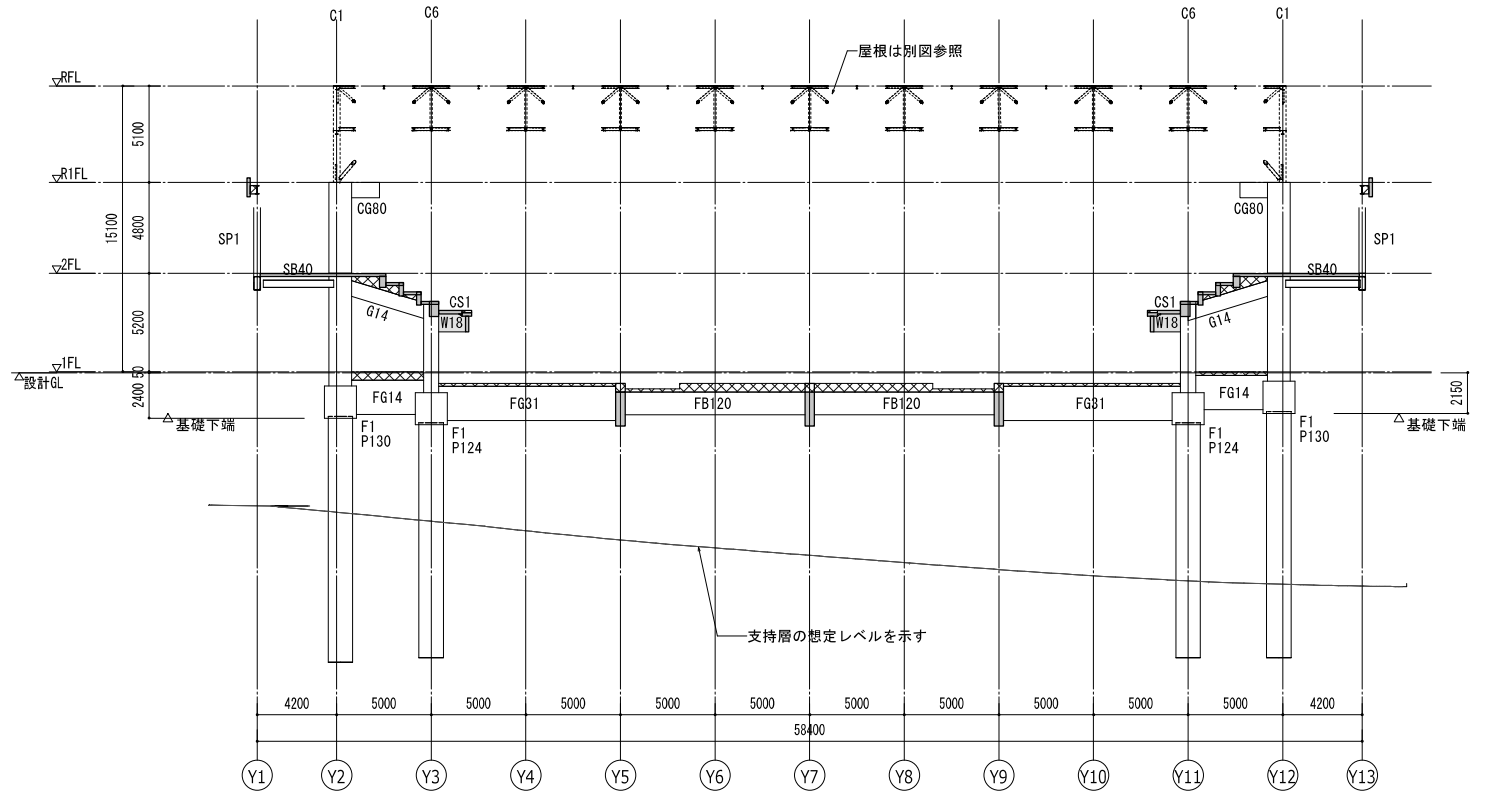
X5通り軸組図



X6通り軸組図

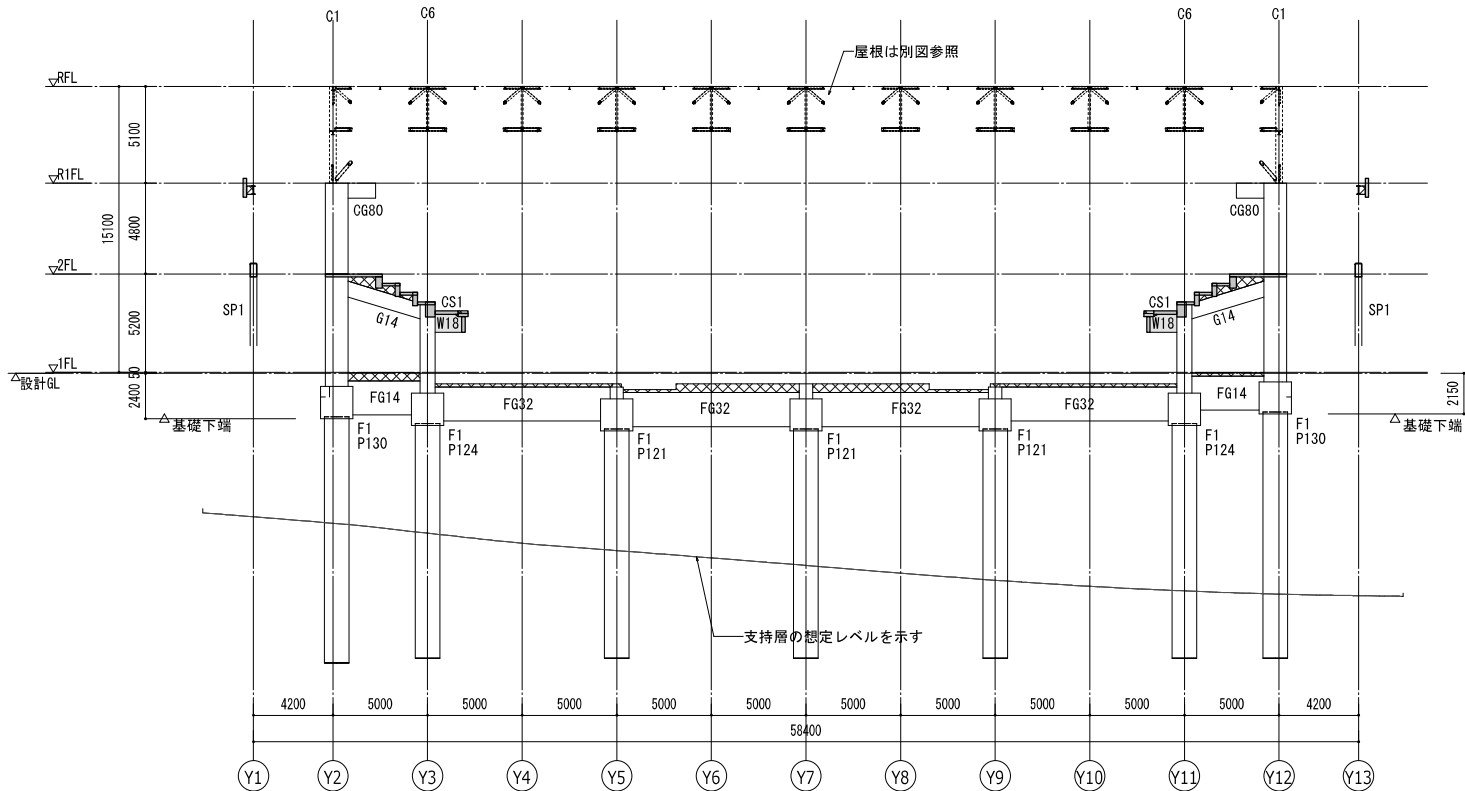


X7通り軸組図

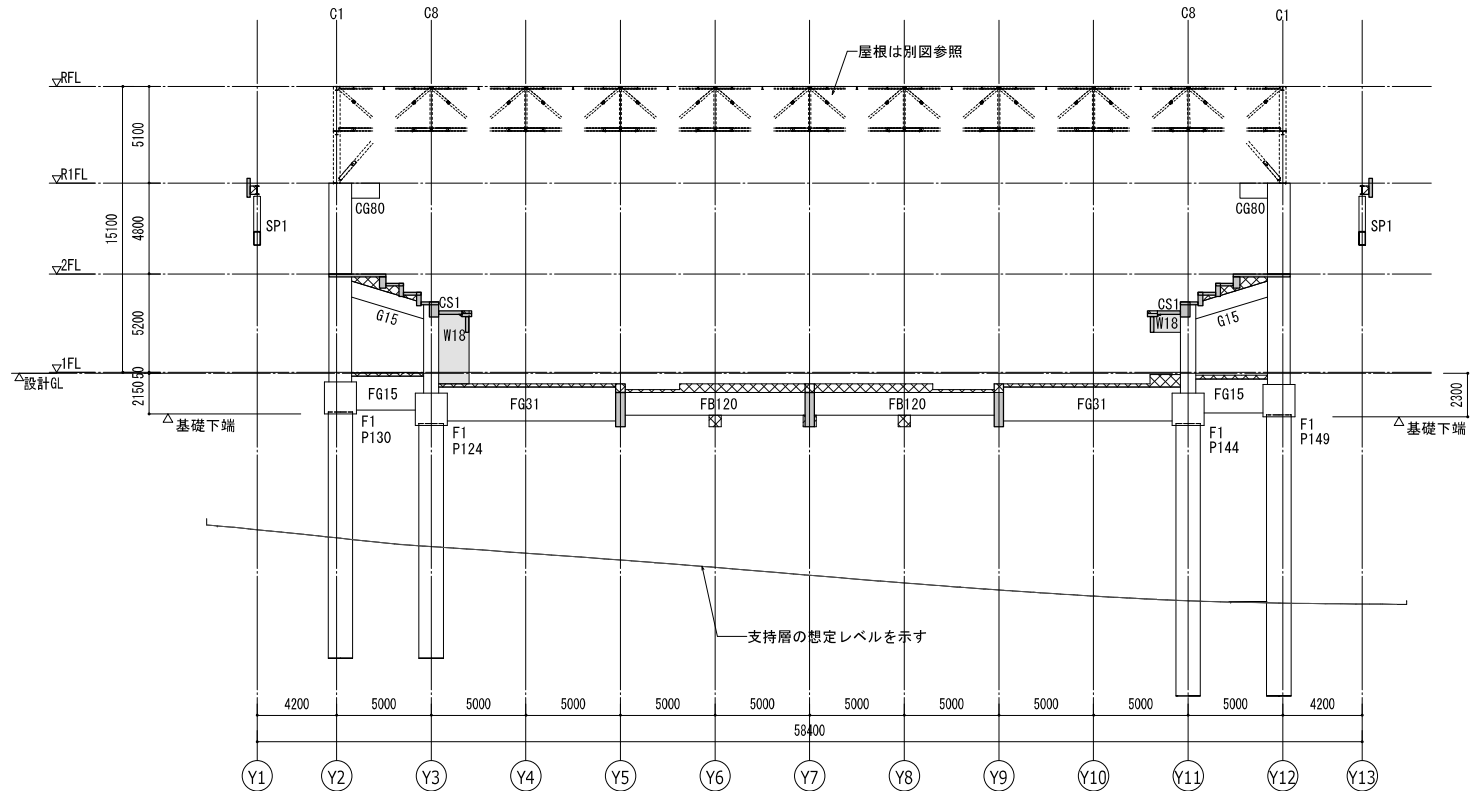


X8通り軸組図

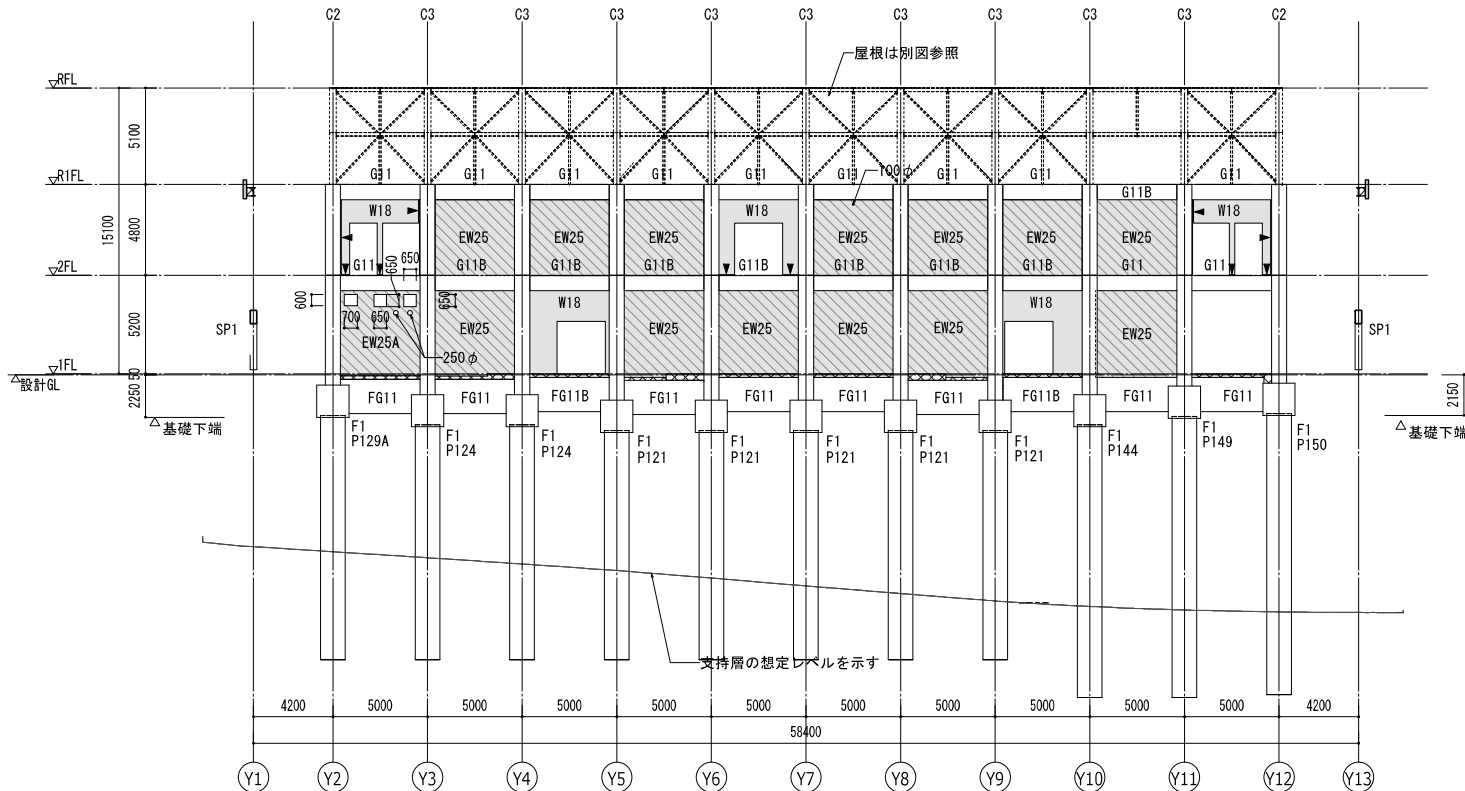
- 特記事項 特記なき限り下記とする
- ・▼は耐震スリットを示す。
 - ・は増打ちを示す。
 - ・R1FL=2FL+4800とする。



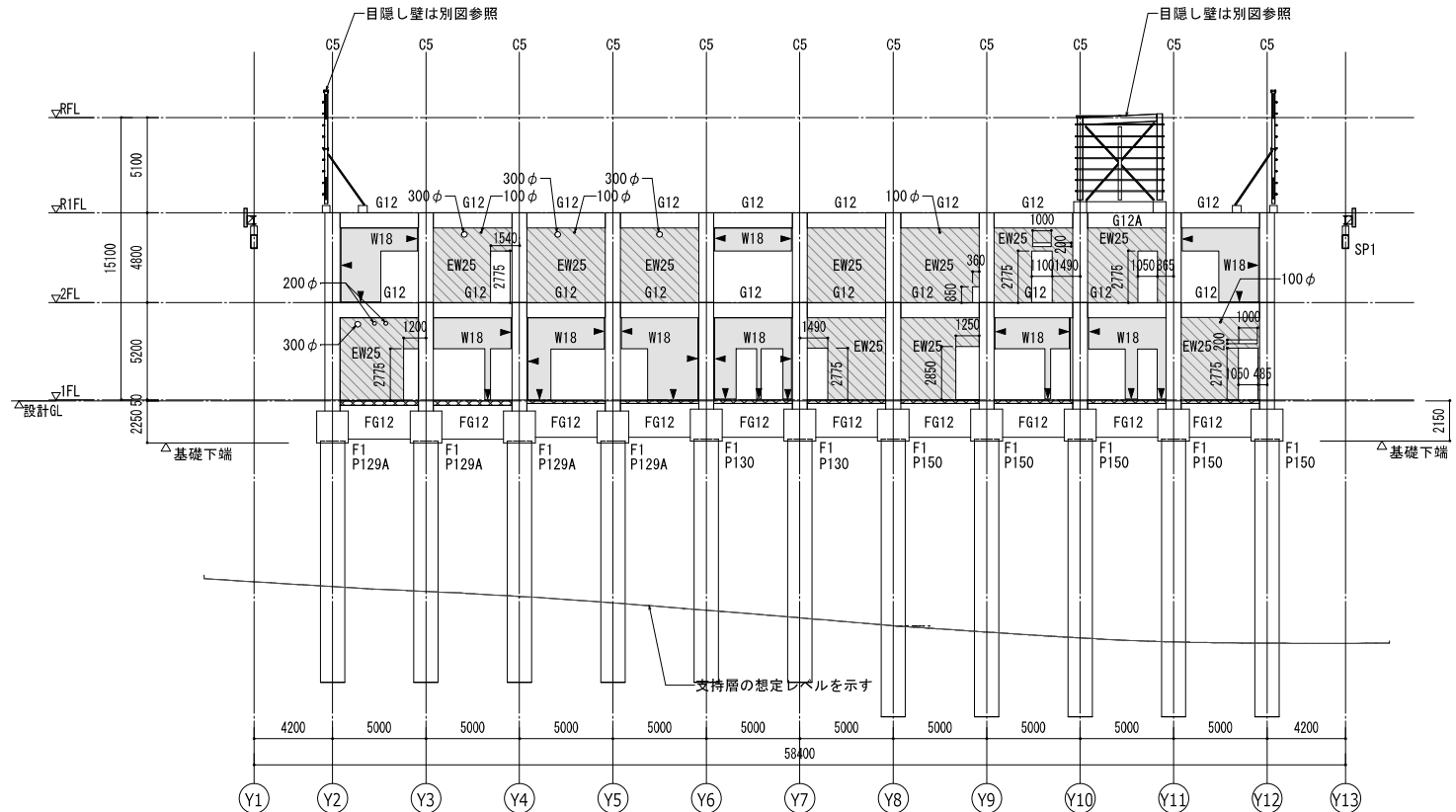
X9通り軸組図



X10通り軸組図

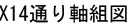
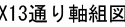


X11通り軸組図



X12通り軸組図

- 特記事項 特記なき限り下記とする
- ・▼は耐震スリットを示す。
 - ・は増打ちを示す。
 - ・R1FL=2FL+4800とする。



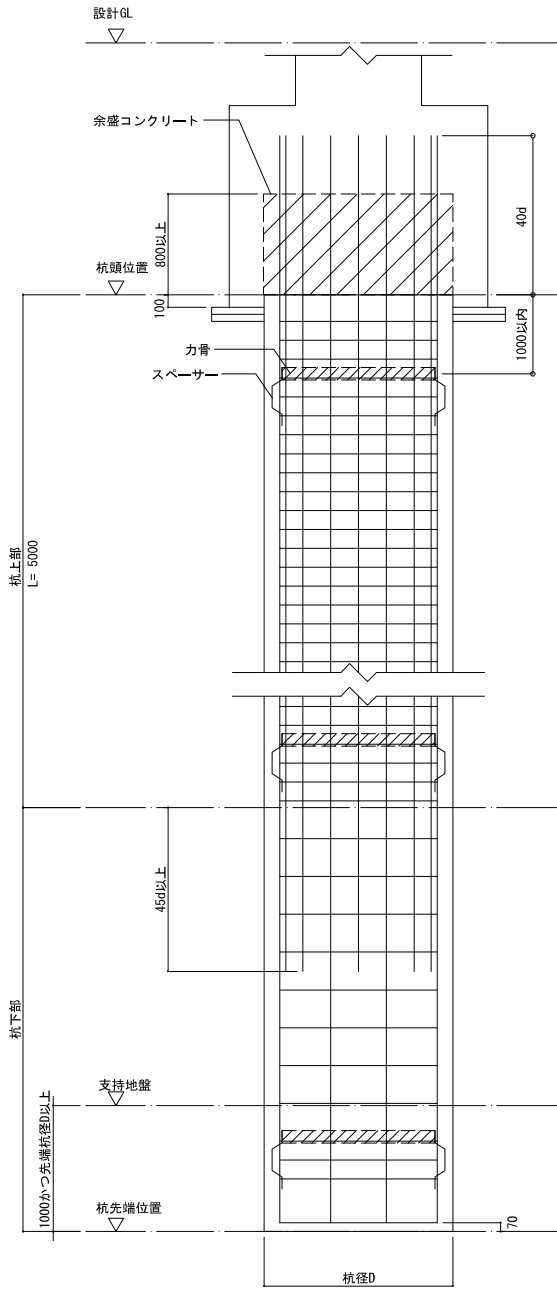
・ $R1FL=2FL+4800$ とする。

履歴	完成図作成 (受注者名)	完成図承諾	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証文番号 第11279号	法適合確認 設備設計一級建築士 証文番号	製作日	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号	設計者 一級建築士 大臣登録第370830号	業務名称 (仮称)福岡総合体育館新築工事	業務契約コード 108557-02	図面番号	管理建築士
	日付	日付	証文番号 第11279号	証文番号	2025.03.31	大臣登録第280701号	大臣登録第370830号				一級建築士
	監理技術者	監理者	本図(仕様書)に記載された事項は、 構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計一級建築士 証文番号	ファイル名	西 重隆	山田 和生				大臣登録第280701号
	担当者	担当者	構造設計一級建築士 山田 和生 証文番号 第11279号	設備設計一級建築士 証文番号		日付	担当者	図面名称 軸組図(11)	縮尺 A1 1:200 A3 1:400	S-32-11	西 重隆
ver. 20191114						2025.03.31					

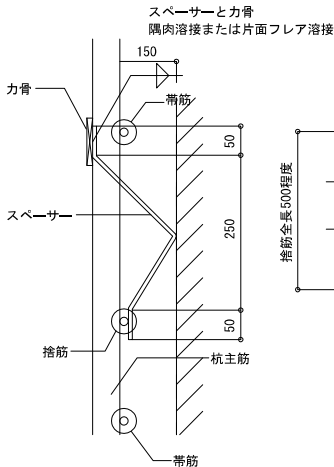
場所打ちコンクリート杭断面表

共通事項

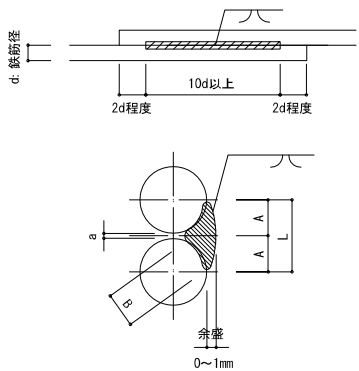
1. 杭種：場所打ちコンクリート杭
2. 杭工法：全周回転オールケーシング工法
3. 使用材料：普通コンクリート 27 N/mm²、スランプ 18 cm、高炉セメントB種
- 水セメント比 55 % 以下
- 単位セメント量 340 kg/m³ 以上
- 鉄筋 主筋（SD390）、帯筋（SD295）
- 銅管 -
4. 鉄筋継手：主筋は重ね継手とし、継手長さは 45d 以上とする
- 帯筋は片面 10d 以上のフレア溶接とし、主筋との組立は鉄線結束とする
5. その他：・杭径は設計径を示す
- ・鉄筋のかぶり厚さは 150 mmとする
- ・スパーサーは、ケーシングチューブを用いる場合は D13以上の鉄筋とし、ケーシングチューブを用いない場合で、杭径 1.2m 以下の場合はFB-6×38とし、杭径 1.2mを超える場合はFB-6×50とする
- ・杭主筋の形状保持用の力骨は、FB-9×75(杭径 2000mm を超える場合はL=75×75×9) @3,000とする
- ・力骨最上部の位置は、杭頭位置より 1000mm 以内とする
- ・スパーサーは 1 段あたり 4 箇所以上設けること
- ・スパーサーおよび力骨は杭主筋に直接溶接しないこと
- ・コンクリートの打込みに先立ちスライムの除去を行ない杭体に対して有害なスライムが無いことを確認すること
- ・施工は一般社団法人 日本基礎建設協会会員業者とする。



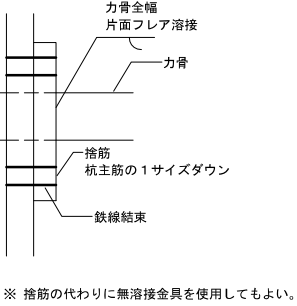
スパーサー取付要領図



帯筋溶接要領図



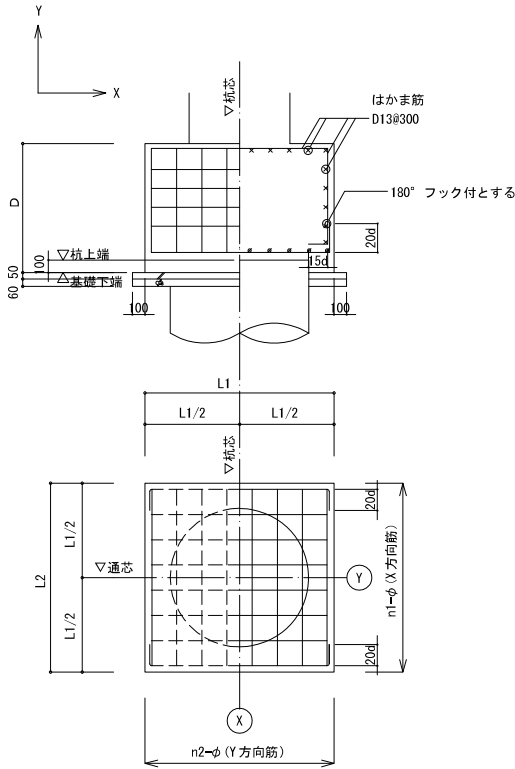
鉄筋径	L (mm)	A (mm)	B (mm)	a (mm)
D10	6	3.0	4.0	1
D13	7	3.5	5.0	1
D16	8	4.0	5.2	1



※ 捨筋の代わりに無溶接金具を使用してもよい。

基礎断面表

- 特記なき限り下記による
- 基礎芯＝杭芯とする
 - 基礎下地盤 捨てコンクリート t50、砕石 t60
 - 鋼材：D10～D16: SD295、D19: SD345



符 号	断 面 寸 法			ベ ー ス 筋		備 考
	L1	L2	D	n1 - φ	n2 - φ	
F1	1700	1700	1500	9—D16	9—D16	

基礎梁リスト（1）

- 特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 巾止め筋はD10-＠1000以内とする。
3. 基礎梁下端地業は、捨てコンt50砕石t60とする。
4. Lcは、柱面からのカットオフ長さを示す。
5. □付きの腹筋は、柱内にL2定着（引き通すことも可）とする。

符 号	F61	F61B	F62	F63	F65			F65A			F611	F611A	F611B	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	X12通端	中央	X13通端	X12通端	中央	X13通端	全断面	全断面	全断面	
断面														
B x D	450x1800	450x1800	450x3550	450x1800	450x1800			450x1800			550x1800	500x3550	550x1800	
上端筋	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25	7-D25	5-D25	6-D25	5-D25	5-D25	10-D25	5-D25	5-D25	5-D25	
下端筋	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	
肋 筋	D13-□-＠100	D13-□-＠200	D13-□-＠100	D13-□-＠200	D13-□-＠100			D13-□-＠200			D13-□-＠200	D13-□-＠100	D13-□-＠100	
腹 筋	6-D13	6-D13	22-D13	6-D13	6-D13			6-D13			6-D13	22-D13	6-D13	
備 考					Lc=2900			Lc=3700						

符 号	F612	F613	F614	F615	F616		F616A			F616B			F616C	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	両端	中央	Y2通端	中央	Y4通端	Y4通端	中央	Y5通端	全断面	
断面														
B x D	450x1800	500x3550	500x1800	500x1800	500x1800		550x1700			550x1700			550x1700	
上端筋	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25	10-D25	11-D25	6-D25	6-D25	5-D25	
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	8-D25	10-D25	6-D25	6-D25	7-D25	6-D25	5-D25	
肋 筋	D13-□-＠100	D13-□-＠200	D13-□-＠200	D13-□-＠200	D13-□-＠100		D13-□-＠100			D13-□-＠100			D13-□-＠100	
腹 筋	6-D13	14-D13	6-D13	6-D13	6-D13		6-D13			6-D13			6-D13	
備 考					Lc=2700		Lc=4050			Lc=3700				

基礎梁リスト（2）

- 特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 巾止め筋はD10-＠1000以内とする。
3. 基礎梁下端地業は、捨てコンt50砕石t60とする。
4. Lcは、柱面からのカットオフ長さを示す。

符 号	F621		F621A		F622			F623			F624		F631		F632
位 置	両端	中央	両端	中央	X1通端	中央	X2通端	X10通端	中央	X11通端	両端	中央	両端	中央	全断面
断 面															
B x D	500x1800		600x1800		500x1800			450x1800			550x1500		500x1800		500x1800
上端筋	12-D25		12-D25		12-D25	12-D25	10-D25	5-D25	9-D25	9-D25	9-D25	6-D25	10-D25	5-D25	5-D25
下端筋	7-D25		10-D25		12-D25	12-D25	10-D25	5-D25	9-D25	9-D25	9-D25	9-D25	5-D25	5-D25	5-D25
肋 筋	D13-□-≒200		D13-□-≒200		D13-□-≒200			D13-□-≒200			D13-□-≒200		D13-□-≒200		D13-□-≒200
腹 筋	6-D13		6-D13		6-D13			6-D13			6-D13		6-D13		6-D13
備 考	Lc=3900		Lc=3900								Lc=3450		Lc=4100		

符 号	F633	F634			
位 置	全断面	両端	中央		
断 面					
B x D	550x1500	450x1500			
上端筋	12-D25	6-D25	4-D25		
下端筋	12-D25	6-D25	4-D25		
肋 筋	D13-□-≒100	D13-□-≒200			
腹 筋	6-D13	6-D13			
備 考		Lc=3400			

基礎小梁リスト

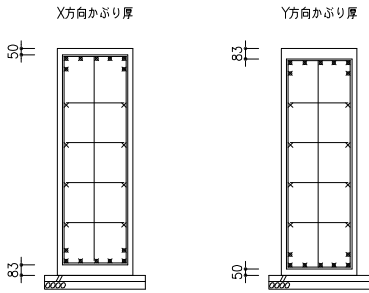
- 特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 巾止め筋はD10-＠1000以内とする。
3. 基礎梁下端地業は、捨てコンt50砕石t60とする。

符 号	FB50	FB60				FB60C	FB80	FB80A	
位 置	全断面	全断面				全断面	全断面	全断面	
断 面									
B x D	350x500	350x600				350x600	400x800	600x800	
上端筋	4-D22	3-D22				3-D22	4-D22	5-D22	
下端筋	4-D22	3-D22				3-D22	4-D22	5-D22	
肋 筋	D10-□-≒200	D10-□-≒200				D10-□-≒200	D13-□-≒200	D13-□-≒200	
腹 筋		2-D13				2-D13	2-D13	2-D13	
備考 1									

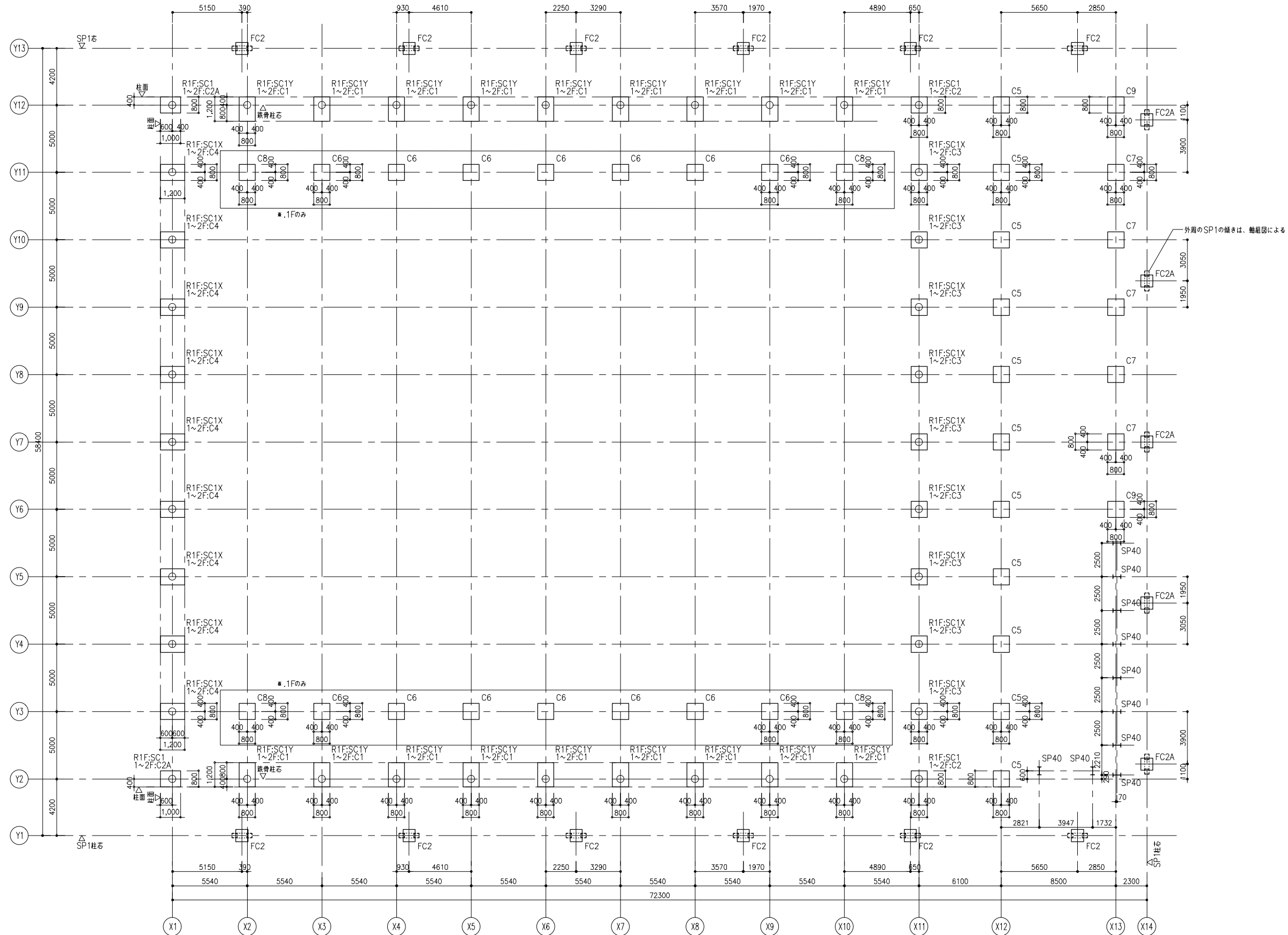
基礎小梁リスト

- 特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 巾止め筋はD10-＠1000以内とする。
3. 基礎梁下端地業は、捨てコンt50砕石t60とする。

符 号	FB120		FB130	FB180	FB180A	FB180B		FCG180	
位 置	両端	中央	全断面	全断面	全断面	他端	中央・X2通端	基礎	先端
断 面									
B x D	400x1200		350x1300	500x1800	350x1800	500x1800	500x1800	500x1800	500x1800
上端筋	6-D22	5-D22	3-D22	5-D25	3-D22	5-D25	9-D25	9-D25	5-D25
下端筋	5-D22	5-D22	3-D22	5-D25	3-D22	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
肋 筋	D13-□-≒200		D13-□-≒200	D13-□-≒200	D10-□-≒200	D13-□-≒200		D13-□-≒200	
腹 筋	6-D13		6-D13	6-D13	6-D13	6-D13		6-D13	
備考 1									



梁主筋位置詳細図



柱芯線図

(A3 1:150,300)

注 記 特記なき限り下記とする

- 1. 柱芯=通り芯 とする。
- 2. R1Fは、2FL+4800より上を示す。

RC柱リスト

特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390

階	符 号	C1	C2	C2A	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
2F	断 面										
	B x D	800x1200	800x800		800x800	1200x800	800x800		800x800		800x800
	主 筋	22-D25	12-D25		12-D25	24-D25	12-D25		16-D25		12-D25
	帯 筋	D13-田-@100	D13-田-@100		D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100		D13-田-@100		D13-田-@100
	接合部帯筋	D13-田-@100	D13-口-@150		D13-口-@150	D13-田-@100	D13-口-@150		D13-口-@150		D13-口-@150
1F	断 面										
	B x D	800x1200	800x800	1000x800	800x800	1200x800	800x800	800x800	800x800	800x800	800x800
	主 筋	22-D25	16-D25	14-D25	12-D25	24-D29	12-D25	12-D25	16-D25	26-D25	12-D25
	帯 筋	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100	D13-田-@100
	接合部帯筋	D13-田-@100	D13-口-@150	D13-口-@100	D13-口-@150	D13-田-@100	D13-口-@150	D13-口-@150	D13-口-@150	D13-口-@150	D13-口-@150

礎柱リスト

特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 主筋柱頭四隅はフック付きとする。

符 号	FC1	FC2	FC2A
断 面		S-38-2による	S-38-2による
B x D	700x700		
主 筋	12-D22		
帯 筋	D13-口-@100		
接合部帯筋	D13-口-@150		
備 考			

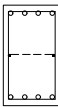
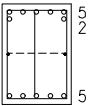
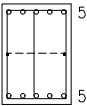
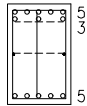
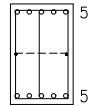
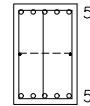
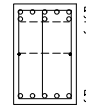
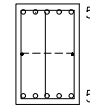
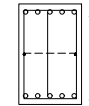
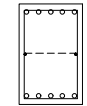
・柱頭の定着長さ
配筋規準図-1。表6の柱頭の定着長さを満足できない場合は、下記の定着長さ以上とすることができる。
ただし、かぶり厚さを確保したうえで、定着長さは可能な限り長くすること。

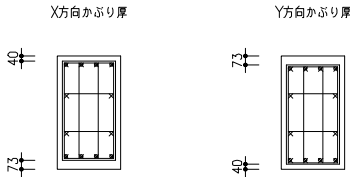
	径	定着方法	定着長さ
	D25	直線	690
		フック付き	390

RC大梁リスト

- 特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345, D29:SD390
2. 巾止め筋はD10-@1000以内とする。
3. □ 付きの裏筋は柱内にL2定着（引き通すことも可）とする。
4. Lcは、柱面からのカットオフ長さを示す。

階	符号	G1	G1B	G2	G3		G5		G11	G11A	G11B	G12	G12A
R1FL	位置	全断面		全断面	両端	中央	両端	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面												
	B x D	450x800		450x800	450x800		500x950		450x800	450x800	800x800	450x800	800x800
	上端筋	4-D25		4-D25	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	5-D25
	下端筋	4-D25		4-D25	5-D25	7-D25	8-D25	9-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	5-D25
	肋筋	D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@100		D13-□-@200		D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@100	D13-□-@200	D13-□-@100
	裏筋	2-D10		2-D10	2-D10		4-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
	備考				Lc=2350								
2FL	位置	全断面	X1通端	中央	X2通端	全断面	両端	中央	両端	中央	全断面	全断面	全断面
	断面												
	B x D	450x800	550x800			450x800	450x800		450x900		500x800	450x800	800x800
	上端筋	5-D25	10-D25	10-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	7-D25	5-D25	8-D25	4-D25	5-D25
	下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	8-D25	4-D25	5-D25
	肋筋	D13-□-@200	D13-□-@100			D13-□-@200	D13-□-@100		D13-□-@200		D13-■-@100	D13-□-@200	D13-□-@100
	裏筋	2-D10	2-D10			2-D10	2-D10		4-D10		2-D10	2-D10	2-D10
	備考		Lc=1700				Lc=1700						

階	符号	G13			G14			G15			G16	
R1FL	位置										全断面	
	断面											
	B x D										450x800	
	上端筋										4-D25	
	下端筋										4-D25	
	肋筋										D13-□-@200	
	裏筋										2-D10	
備考												
2FL	位置	両端	中央		Y2,Y12通端	中央	Y3,Y11通端	Y2,Y12通端	中央	Y3,Y11通端	全断面	
	断面											
	B x D	550x800			500x800			500x800			500x800	
	上端筋	7-D25		5-D25	8-D25	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	5-D25	5-D25	
	下端筋	5-D25		5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	
	肋筋	D13-□-@100			D13-□-@100			D13-□-@100			D13-□-@200	
	裏筋	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10	
	備考	Lc=1600			Lc=1600			Lc=1600				



梁主筋位置詳細図

RC小梁リスト

特記なき限り下記とする。
1.鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D22:SD345
2.巾止め筋 D10－@1000以内

符 号	B50	B60	B60A		B60B		B60C		B60D	B70		B70A
位 置	全断面	全断面	両端	中央	両端	中央	両端	中央	全断面	両端	中央	全断面
断 面												
B×D	300x500	350x600	350x600		350x600		350x600		350x600	350x700		250x700
上端筋	3-D19	3-D22	5-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	6-D22	6-D22	4-D22	3-D19
下端筋	3-D19	3-D22	4-D22	5-D22	4-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	6-D22	3-D19
肋 筋	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200		D10-□-@200
腹 筋	－	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10
備考												

RC片持ち梁リスト

特記なき限り下記とする。
1. 鉄筋種別：D10～D16:SD295, D19～D25:SD345
2. 巾止め筋はD10－@1000以内とする。

符 号	CB60	CG80	CG80A	CG80B
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面				
B×D	350x600	400x800	450x800	400x800
上端筋	4-D22	4-D25	10-D25	5-D25
下端筋	3-D22	4-D25	5-D25	4-D25
肋 筋	D10-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200	D13-□-@200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
備考				

スラブリスト

注記）特記なき限り下記による。
1. 鉄骨梁に取付くスラブは、フラットデッキ（t＝1.2mm）使用のこと。
2. 土に接するスラブ下の地業は、捨てコンt50砕石t60とする。

記 号	版 厚	位 置	短辺方向，片持ち部材主筋	長辺方向，片持ち部材配力筋	備 考
S1	150	上端筋	D10,D13 ー @200	D10 ー @200	
		下端筋	D10 ー @200	D10 ー @200	
S2	150	上端筋	D10,D13 ー @200	D10,D13 ー @200	
		下端筋	D10 ー @200	D10 ー @200	
S3	200	上端筋	D13 ー @200	D10,D13 ー @200	
		下端筋	D10,D13 ー @200	D10 ー @200	
S4	200	上端筋	D13 ー @150	D13 ー @200	
		下端筋	D10,D13 ー @150	D10,D13 ー @200	
S6	150	上端筋	D13 ー @200	D10,D13 ー @200	
		下端筋	D10,D13 ー @200	D10 ー @200	
S11	160	上端筋	D10,D13 ー @200	D10 ー @200	
		下端筋	D10 ー @200	D10 ー @200	
CS1	200	上端筋	D16 ー @100	D10 ー @200	
		下端筋	D13 ー @100	D10 ー @200	
DS	150	上端筋	D10 ー @200	D10 ー @200	土間スラブ
		下端筋	D10 ー @200	D10 ー @200	
FS1	250	上端筋	D13 ー @200	D13 ー @200	
		下端筋	D13 ー @200	D13 ー @200	
FS2	250	上端筋	D13 ー @100	D13 ー @100	
		下端筋	D13 ー @100	D13 ー @100	

壁断面リスト

注記）特記なき限り下記による。
1. ダブル配筋の場合1 m 毎に1カ所以上D10の幅止め筋で内外筋を連結する。
2. 鋼材は、D10～D16:SD295とする。
3. 階段を支持する壁は縦筋を外側に配筋すること。

符 号	EW18	EW20	EW25	EW25A	W18	FW25	KW18	KEW18
断 面								
壁 厚	180	200	250	250	180	250	180	180
縦 筋	D10-@200 7 A	D10-@150 7 A	D13-@200 7 A	D13-@150 7 A	D10-@200 7 A	D13-@200 7 A	D10-@200 7 A	D10-@200 7 A
横 筋	D10-@200 7 A	D10-@150 7 A	D13-@200 7 A	D13-@150 7 A	D10-@200 7 A	D13-@200 7 A	D10-@200 7 A	D10-@200 7 A
開 口 補強筋	縦	4-D13	6-D13	8-D16	4-D13	－	－	－
	横	4-D13	6-D13	8-D16	4-D13	－	－	－
備考	斜	－	－	－	2-D13	－	－	－
						縦筋が外	縦筋が外	

鉄骨小梁・耐風梁リスト

特記なき限り下記による
1) 鋼材種別は 無印:SS400, ○印:SN490Bとする。H.T.B.:S10T(溶融亜鉛メッキ使用部:F8T)とする。
2) HB は耐風梁を示し、横使いとする。
3) 雨脚部分は溶融亜鉛メッキとする。耐風梁はウェブに水抜き孔3-16φを設ける。

TYPE A

TYPE B

TYPE C

* E=40, @P1=60, @P2=60

符 号	材質	断 面	TYPE	G.PL	H.T.B	備 考
SB20		全断面 H-200x100x5.5x8	A	PL-9	2-M20	
SB30		全断面 H-300x150x6.5x9	A	PL-9	3-M20	
SB35		全断面 H-350x175x7x11	A	PL-9	4-M20	
SB40		全断面 H-400x200x8x13	A	PL-9	4-M20	
SB440		全断面 H-440x300x11x18	C	2PL-12	1x4-M20	
SB440A		BH-440x300x25x25	C	2PL-12	1x4-M20	SN400B. V字柱柱頭緊ぎ材
SB50		全断面 H-500x200x10x16	A	PL-12	5-M20	
SB488		全断面 H-488x300x11x18	A	PL-12	5-M20	
SB20W		全断面 H-200x200x8x12	A	PL-9	2-M20	
SB45		全断面 H-450x200x9x14	A	PL-9	4-M20	
SB440B		全断面 H-440x300x11x18	A	PL-12	4-M20	
HB15		全断面 H-150x150x7x10	B	PL-9	2x1-M20	

鉄骨周柱リスト

特記なき限り下記による
1) 鋼材種別は SS400,STKR400, H.T.B.:S10T(溶融亜鉛メッキ使用部:F8T), B.PL:SS400, A.Bolt:SS400 とする。
2) A.Bolt は、ダブルナット締め,定着長L=20d以上,先端フック付き とする。

符 号	断 面	G.PL	H.T.B	B.PL	A.Bolt	備 考
SP1	ロ-350x350x12(BCR295)	4PL-16(SN490B)	12-M20	V字柱仕口詳細図参照		
SP40	H-400x200x 8x13	PL-12	4-M20	PL-16x450x300	4-M20	無収縮モルタルt=50

頭付スタッド要領

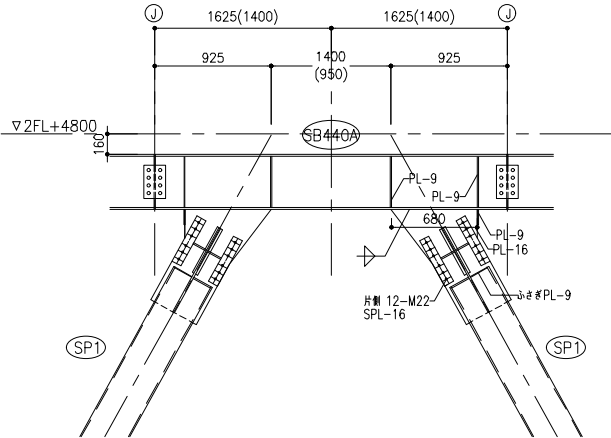
特記なき限り下記による
RCスラブを受ける鉄骨梁上には頭付スタッドを設ける。
h=80とする。

大 梁				小 梁	
B≧400	400>B≧300	B=250	B≦200	B≧300	B≦250
3-19φ200	2-19φ200	2-16φ200	1-19φ200	2-16φ200	1-16φ200

V字柱仕口詳細図 1/30

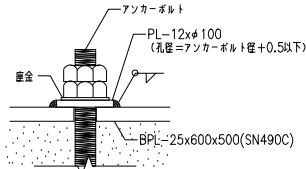
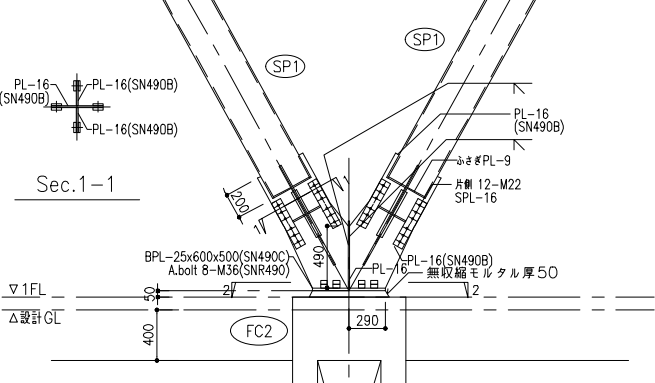
柱 頭

・() 内の寸法は、X14通りを示す。

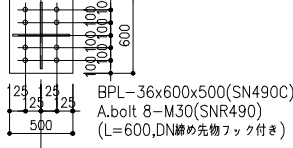
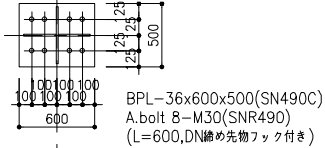


柱 脚

・柱脚毎に、仕上げ取付け用として、捨てPL-16x700x500(SS400)を見込む。



S=1/40



ベースプレートリスト 1:30

特記なき限り下記とする。
1. 鋼材材質： SS400 とする。
2. 無収縮モルタル： t30 とする。
3. A.bolt: 材質SS400, 定着長20d, DN, フック付き とする。

4.モルタル落下防止PL(下面・側面)はPL-4.5とする。

符 号	SB20	SB30	SB35	SB40	SB50	SB488	HB15
断 面							
B.PL	12x 300x 200	16x 300x 350	16x 300x 350	16x 300x 400	16x 300x 500	16x 300x 500	16x 200x 300
A.bolt	4-M20	4-M20	4-M20	4-M20	4-M20	4-M20	2-M20
備 考							

完成図作成 (受注番号)	完成図承諾
日付	日付
監理技術者	監理者
担当者	担当者

構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号

設備設計一級建築士 証交付番号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士 証交付番号

2025.03.31
ファイル名

一級建築士 大臣登録第280701号 西 重隆
日付 2025.03.31

一級建築士 大臣登録第370830号 山田 和生
担当者

(仮称) 福岡町総合体育館新築工事
図面名称 鉄骨部材リスト、部分詳細図

108557-02
縮尺 A1:1/30 A3:1/60

S-38-2

一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆

鉄骨雑詳細図

片持スラブ部分鉄骨下地

デッキ方向

D13 @400

部材は下記とする。
屋外露出面 垂鉛メッキ、一般部さび止めとする。

■1500>L>1200のとき
□-100x100x10 φ600とする。

■1200>Lのとき
L-90x90x10 φ600とする。

はり継手部詳細図

FB-60x9

デッキプレート納り図

端部はエンドクローズ加工タイプ又は小口ふさぎを設ける。

50以上

50以上

フットデッキ

鉄骨柱回り補強要領

600

2-D13

デッキ方向↓

FB-60x9又はL-60x60x5

柱回り詳細

スラブ段差鉄骨及び配筋要領図

片側のスラブが下がる場合

150

75

R-9

300

R-9

φ1000

片側のスラブが上がる場合

R-3.2

デッキ方向↓

L-150x90x9

デッキ方向←

面側のスラブが上がる場合

L2 (h₀≧50:主筋径同径・同ピッチ)

L2 (h₀≧50:主筋径同径・同ピッチ)

h>200の場合

デッキ方向↓

デッキ方向←

スタッドジベル
鎖付きスタクト要領
による。

Rib R-6
φ900

B

h	鋼材:SS400
h<50	PL-3.2加工 Rib, R 不要
50≦h<100	L-150x90x9 Rib, R 不要
100≦h<350	BT-hxBx9x12 Rib, R 不要
350≦h<500	BT-hxBx9x12 Rib, R-6φ900
500≦h	BT-hxBx12x16 Rib, R-9φ900

鉄骨スラブ端部詳細図

フットデッキの場合
L≦300

*配力筋方向も同要領とする。

補強鉄筋(各所共通)
D10@500

(端部溶接)
J PL-1.2 (SS400)

D13

アークスポット溶接
8φ@500

300<L≦700

1000

45

D13@200(ダブル)

D10@200(ダブル)

2-D13

L型PL-2.3 (SS400)

L-75x75x6@1000

375

L

補強鉄筋端部溶接要領

40

D10@500

先端折り曲げる

L型PL-1.2

D13 (SS400)

30

小梁の剛接合

(h>150)

10

26

sb

24

スチフナプレート

(h≦150)

10

26

sb

26

1

6

勾配は、1/6以下とする。

スチフナプレートの厚さは9mm以上
かつ
取り付く小梁のウェブプレートの
厚さ以上とする。

梁継手部デッキ受け

受材
R-6

100

50

10

100

2FL+4800 鉄骨側面増打ち配筋要領

2FL+4800

50

700

4-D13

PL-9@300

スラブ筋

D13@200(ウェブにフレア溶接)

頭付きスタッド:2-φ16@300
(L=200)

壁筋D13@200ダブル

180

11

L-150x110x9

SP1、SB440B取り合い詳細図

SP1

SB440B

SB440B

10

GPL-12
HTB:4-M20

柱継手詳細図

エレクションピース
PL-16,2PL-9 3-M22
2箇所(各面に2箇所)

43

梁仕口段差鉄骨詳細図

詳細図(1)
(小梁標準納り)

10

SPL

GPL

300>h≧200時の詳細図

詳細図(2)
(レベル差 h<D/2)
(Dは小梁径とする。)

SPL

GPL

詳細図(3)
(レベル差 D/2≦h<D)
(Dは小梁径とする。)

100

50

50

GPL

SPL

Rib PL-6

SPL

詳細図(4)
(レベル差 h=D)
(Dは小梁径とする。)

150

50

100

GPL

SPL

Rib PL-9

SPL-6

(注) D1≧400の場合について
小梁仕口(4)と同様の補強をおこなう

詳細図(5)
(レベル差 h>D)
(Dは小梁径とする。)

150

50

100

GPL

PL-6

GPL-6 2-M16

L-50x50x6

SPL-6

Rib PL-9

石本建築事務所

ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.

履歴

完成図作成 (受注者名)

日付

監理技術者

担当者

完成図承諾

日付

監理者

担当者

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。

法適合確認欄
設備設計一級建築士
証交付番号
本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。

製作日

2025.03.31

ファイル名

代表設計者

一級建築士
大臣登録第280701号
西 重隆

日付

2025.03.31

設計者

一級建築士
大臣登録第370830号
山田 和生

担当者

業務名称

(仮称) 福智町総合体育館新築工事

業務契約コード

108557-02

縮尺

A1:1/30
A3:1/60

図面名称

雑詳細図 1-2

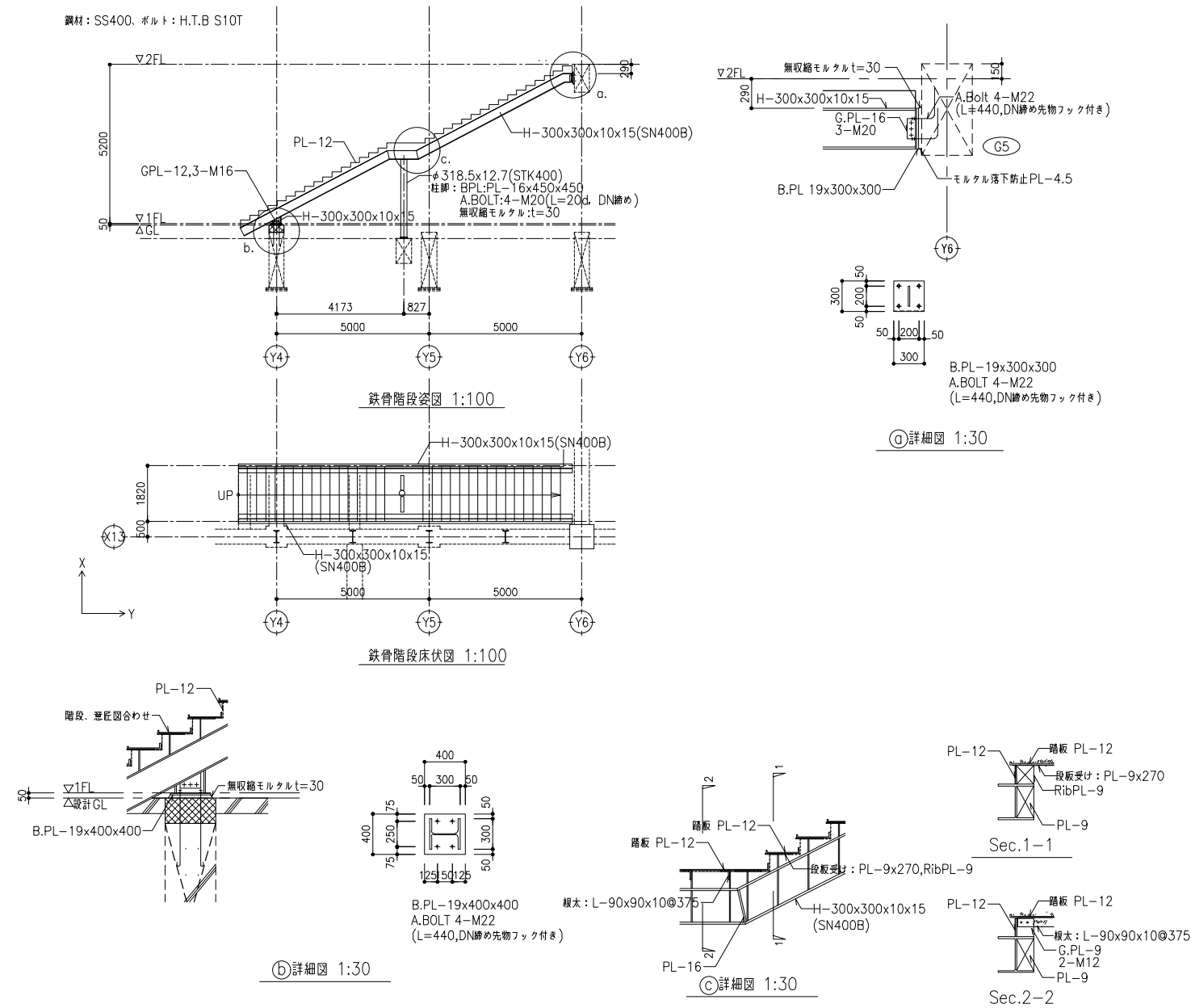
図面番号

S-200-2

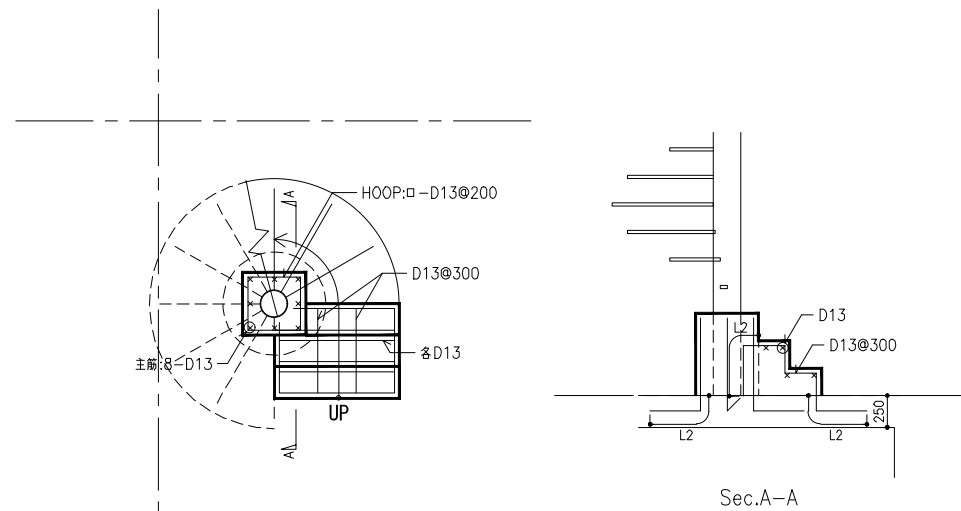
管理建築士

一級建築士
大臣登録第280701号
西重隆

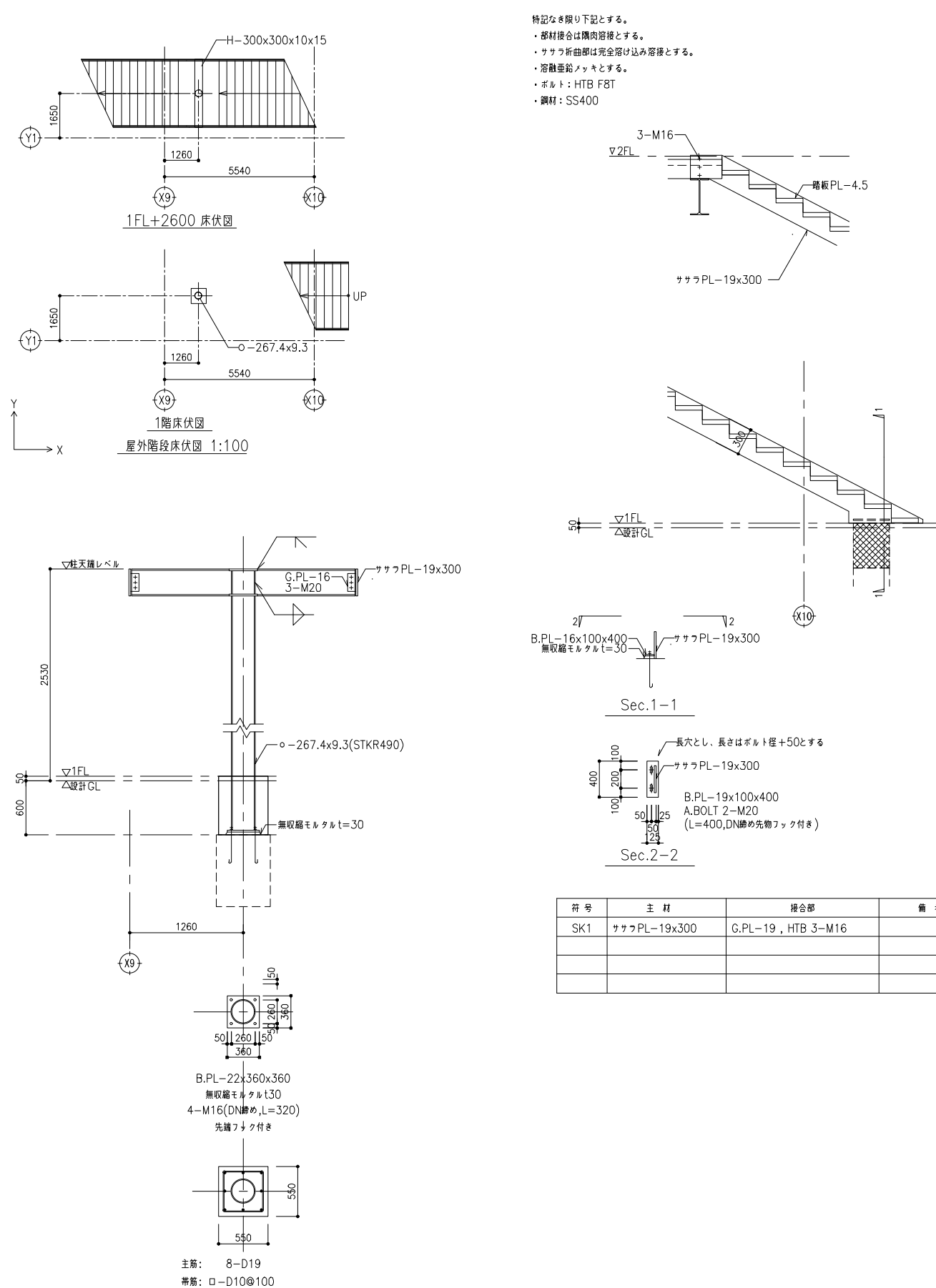
屋内鉄骨階段詳細図 (SK2)



メンテナンス階段

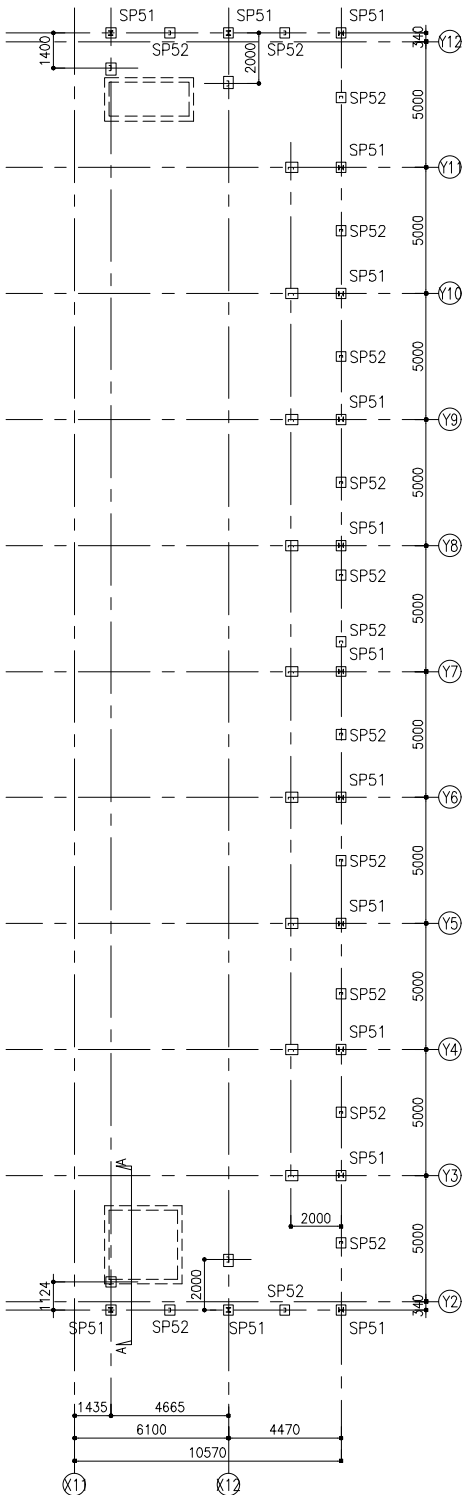


屋外鉄骨階段詳細図(SK1)

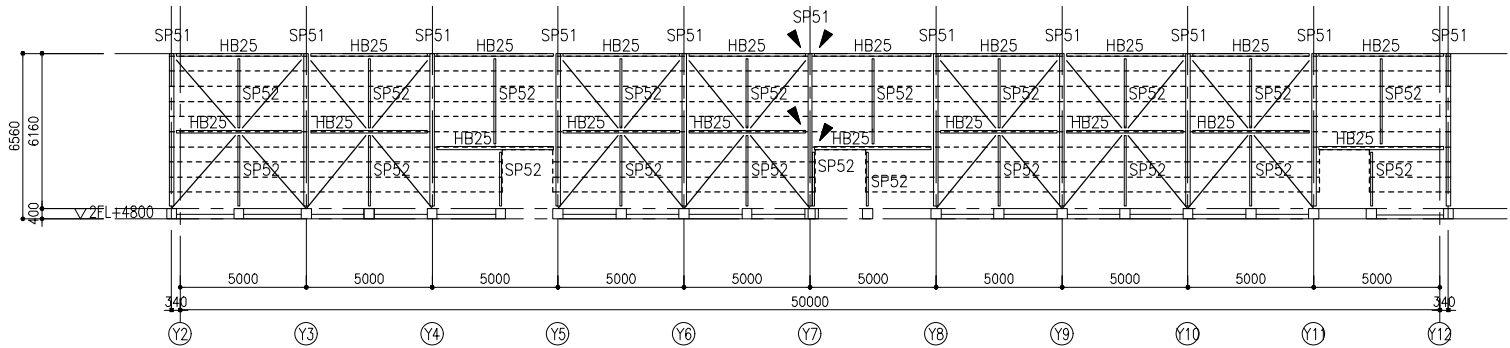


符 号	主 材	接合部	備 考
SK1	サワフPL-19x300	G.PL-19 , HTB 3-M16	

履歴	完成図作成 (受注者名)	完成図承諾	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号	法適合確認 設備設計一級建築士 証文付番号 本図(仕組書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	製作日	代表設計者 一級建築士 大匠登録第280701号 西 重隆	設計者 一級建築士 大匠登録第3708330号 山田 和生	業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事	業務契約コード 108557-02	図面番号	管理建築士
	日付	日付			2025.03.31					S-201-1	一級建築士 大匠登録第280701号 西重隆
	監理技術者	監理者	本図(仕組書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕組書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。	ファイル名						
	担当者	担当者	構造設計一級建築士 山田 和生 証文付番号 第11279号	設備設計一級建築士 証文付番号	日付 2025.03.31	日付 2025.03.31	担当者	図面名称 雑詳細図2-1	縮尺 A1:1/30,1/100 A3:1/60,1/200		

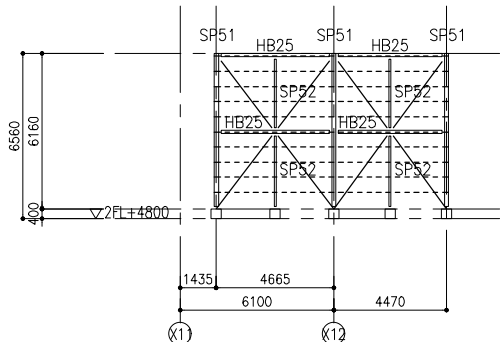


2FL+4800階 伏図 1/150



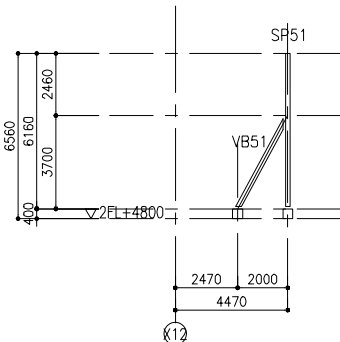
X12+3,100通軸組図 1/150

特記なき限り下記とする。
・鉛直ブレースはV51とする。
・-----は胴縁を示す。
・▼で示す継手のボルト孔は長穴とし、ボルト径+50とする。



Y2,Y12通 軸組図 1/150

特記なき限り下記とする。
・鉛直ブレースはV51とする。
・-----は胴縁を示す。



Y3~Y11通 軸組図 1/150

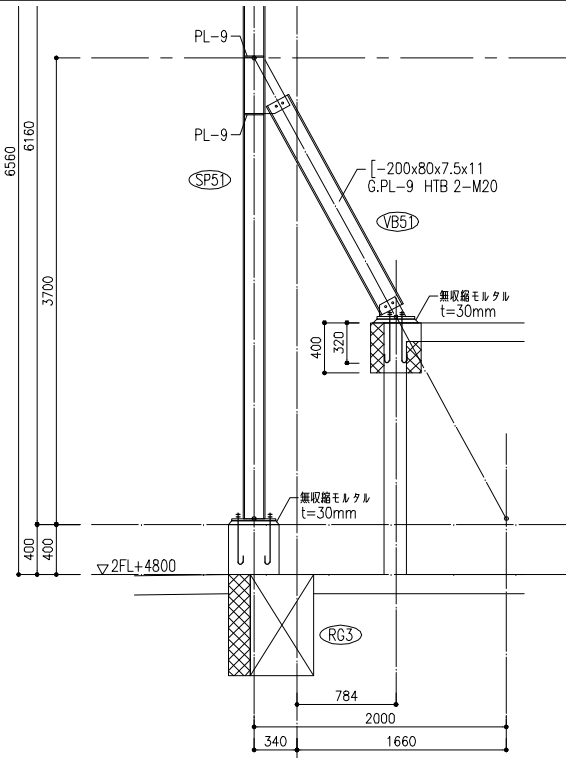
X11+1,435通 軸組図 1/150

X12通 軸組図 1/150

鉄骨部材リスト

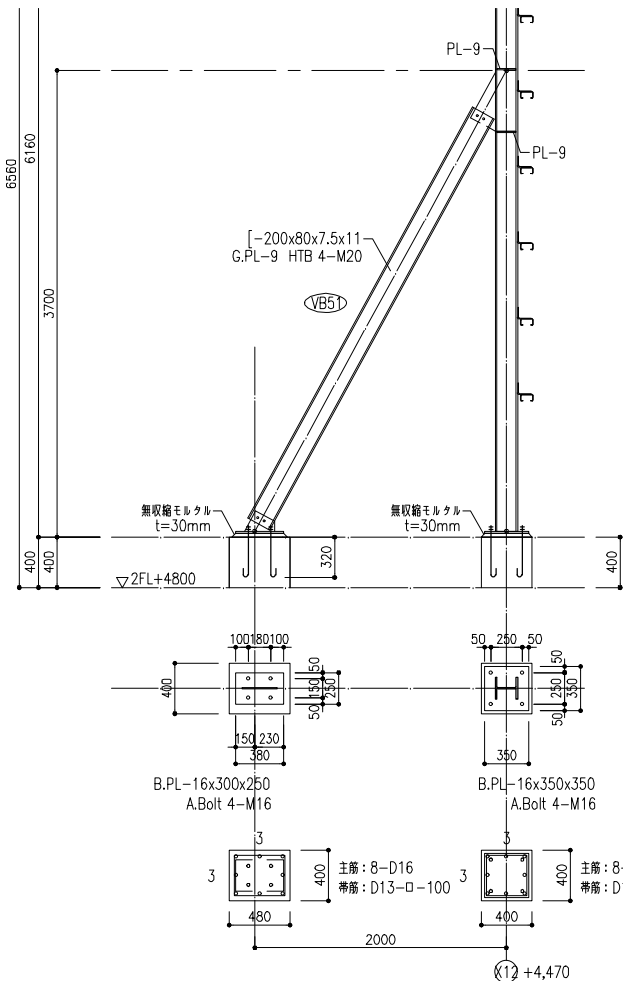
符号	断面	G.PL	H.T.B	B.PL	A.Bolt	備考
SP51	H-175x175x7.5x11	-	-	PL-16x350x350	4-M16	無収縮モルタルt=30
SP52	[-150x75x6.5x10	PL-9	2-M16	PL-12x200x200	2-M16	無収縮モルタルt=30
HB25	H-250x125x 6x 9	PL-9	2-M20			横使い
VB51	[-200x80x7.5x11	PL-9	2-M20	PL-16x300x250	4-M16	無収縮モルタルt=30
V51	1-M16(TB付き)	PL-9	1-M16			
胴縁	C-100x50x20x2.3@600	PL-6	中ボルト2-M12			@1800毎に2C-100x50x20x2.3

特記なき限り下記とする。
1) 鋼材規格: SS400
HTB: F8T, A.Bolt: SNR400, B.PL: SN400B
2) 鉄筋材質: D10~D16: SD295
3) A.Boltは、ダブルナット締め、定着長L=20d以上(フック付き)とする。
4) 溶融亜鉛メッキ仕上とする。
5) 横使いの部材には水抜き孔20φを3か所以上設けること。

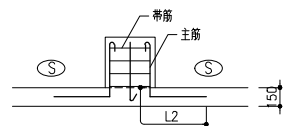


Sec.A-A 1/30

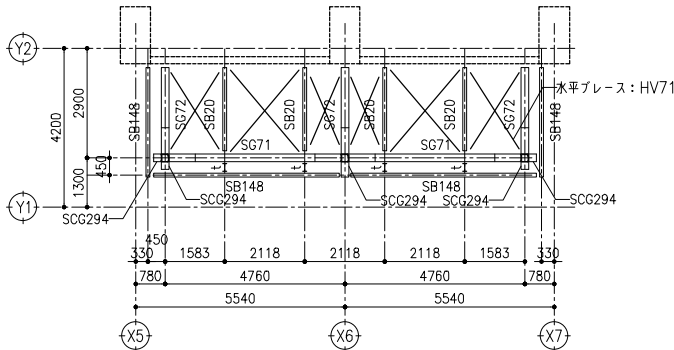
※ [] は、増し打ち部を示す。
範囲は、目隠し基礎と同じとし、350とする。



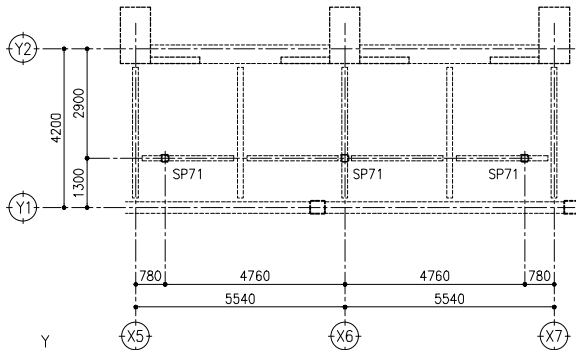
柱脚配筋詳細図 1/30



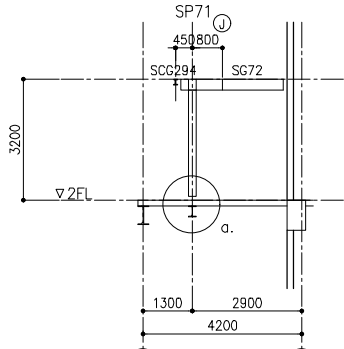
礎柱主筋の定着要領図 1/30



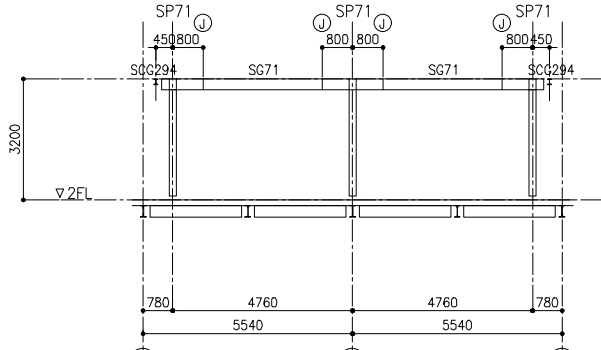
2FL+3200 床伏図



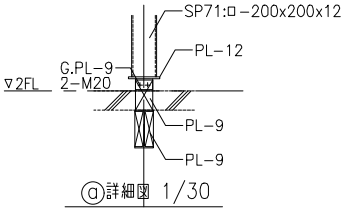
2階床伏図
2階風除室床伏図 1/100



X5+780通 軸組図 1/100



Y1+1300通 軸組図 1/100



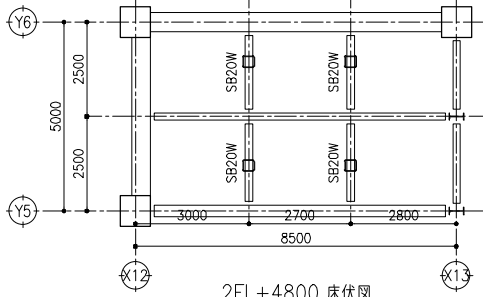
①詳細図 1/30

鉄骨大梁リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSN400B. H.T.B.:S10T とする。
2) BPLの下面、側面に、モルタル落下防止PL-4.5を設ける。

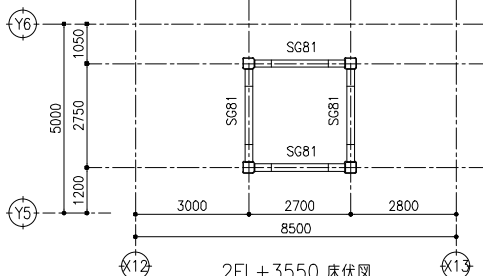
符号	断面	位置	H.T.B	B.PL	備考
SG71	H-294x200x 8x12	フランジ	6-M20	SPL(外): PL-9x200x410 SPL(内): 2PL-9x 80x410	e=40,p=60
		ウェブ	3-M20	SPL: PL-9x200x170	e=40,p=60
SG72	H-294x200x 8x12	フランジ	6-M20	SPL(外): PL-9x200x410 SPL(内): 2PL-9x 80x410	e=40,p=60
		ウェブ	3-M20	SPL: PL-9x200x170	e=40,p=60
		G.PL-9	3-M20	B.PL-12x350x350 A.Bolt: 4-M20	無収縮モルタルt=30
SCG294	H-294x200x 8x 12	-	-	-	-

鉄骨部材リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSS400. H.T.B.:S10T. B.PL:SS400. A.Bolt:SS400 とする。 3) BPLの下面、側面に、モルタル落下防止PL-4.5を設ける。
2) A.Bolt は、ダブルナット締め,定着長L=20d以上,先端フック付き とする。

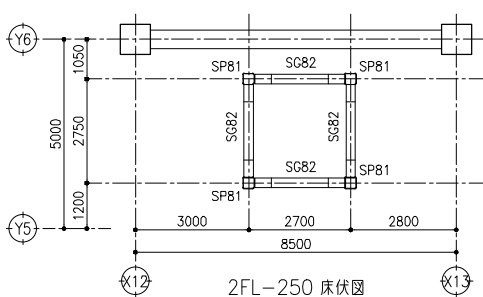
符号	断面	G.PL	H.T.B	B.PL	A.Bolt	備考
SB20	H-200x100x5.5x 8	PL-9	2-M20	PL-12x300x200	4-M20	無収縮モルタルt=30
SB148	H-148x100x 6x 9	PL-6	2-M16	PL-12x300x200	4-M20	無収縮モルタルt=30
SP71	□-200x200x12(STKR400)	PL-9	2-M20			
HV71	1-M16 (ターンバックル付き)	PL-9	1-M16			JIS規格品
t	L-65x65x6	PL-6	2-M16			底屈止め



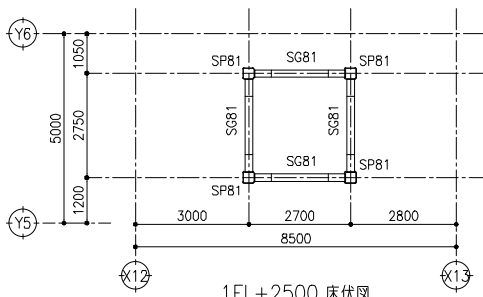
2FL+4800 床伏図



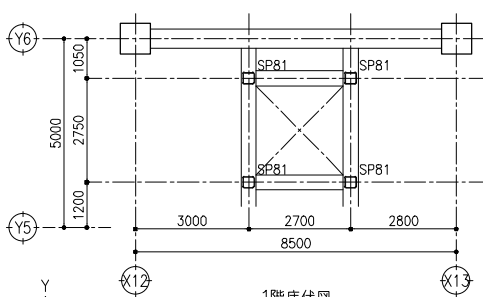
2FL+3550 床伏図



2FL-250 床伏図

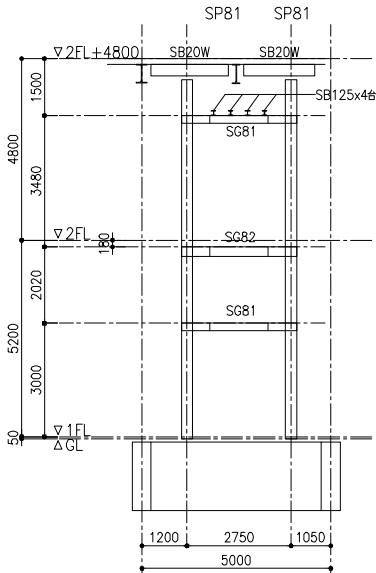


1FL+2500 床伏図

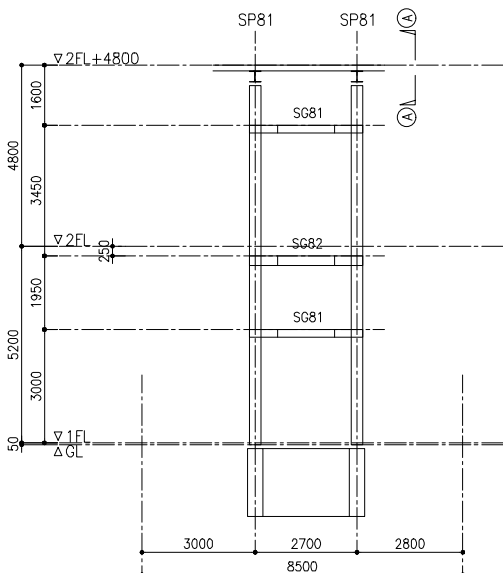


1階床伏図

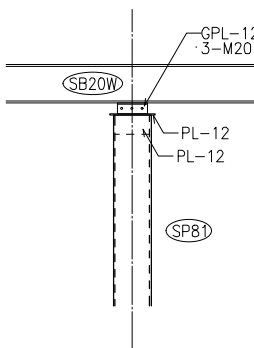
EV廻り床伏図 1/100



X12+2779通 軸組図 1/100



Y5+2122通 軸組図 1/100



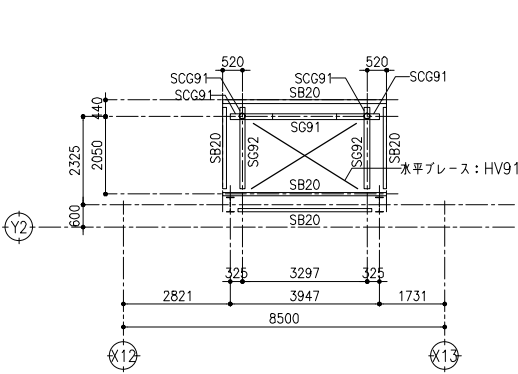
A - A 矢視図 1:30

鉄骨大梁リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSS400. H.T.B.:S10T とする。

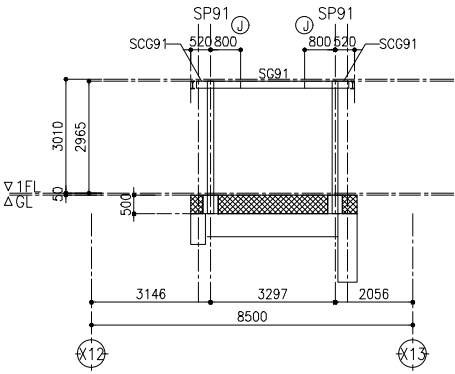
符号	断面	位置	H.T.B	B.PL	備考
SG81	H-200x200x 8x12	フランジ	4-M20	SPL(外): PL-9x200x290 SPL(内): 2PL-9x 80x290	e=40,p=60
		ウェブ	2-M20	SPL: PL-6x140x230	e=40,p=60
SG82	H-250x250x 9x14	フランジ	8-M20	SPL(外): PL-12x250x530	e=40,p=60
		ウェブ	4-M20	SPL(内): PL-12x100x530	e=40,p=60

鉄骨部材リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSS400. H.T.B.:S10T. B.PL:SS400. A.Bolt:SS400 とする。
2) A.Bolt は、ダブルナット締め,定着長L=20d以上,先端フック付き とする。

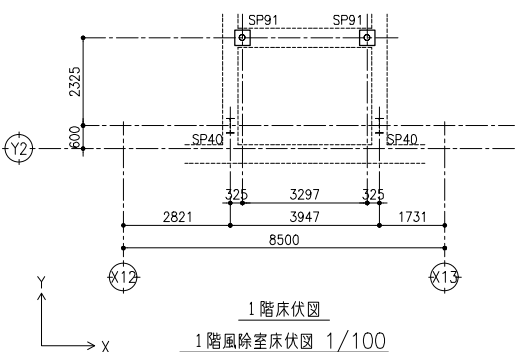
符号	断面	G.PL	H.T.B	B.PL	A.Bolt	備考
SB20W	H-200x200x 8x12	PL-9	2-M20	PL-12x300x200	4-M20	無収縮モルタルt=30
SB125	H-125x125x 6.5x9	PL-9	2-M16	-	-	-
SP81	□-300x300x12(STKR400)	PL-12	3-M20	PL-25x500x500	4-M22	無収縮モルタルt=50



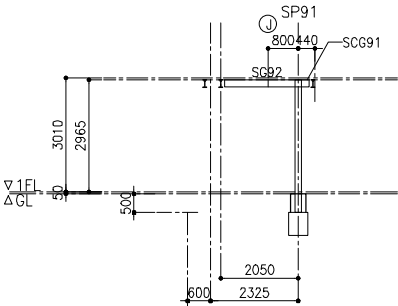
1FL+3010 床伏図



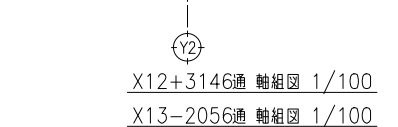
Y2+2925通 軸組図 1/100



1 階床伏図
1 階風除室床伏図 1/100



X12+3146通 軸組図 1/100



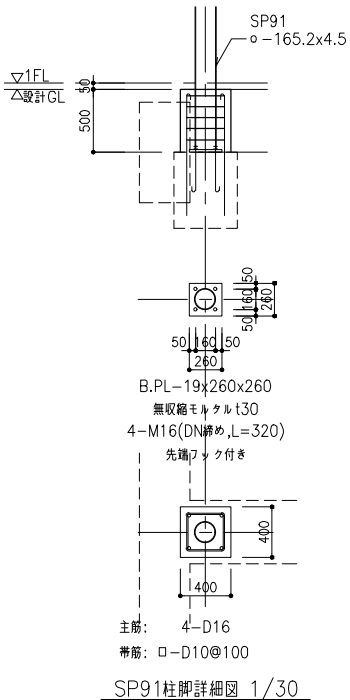
X13-2056通 軸組図 1/100

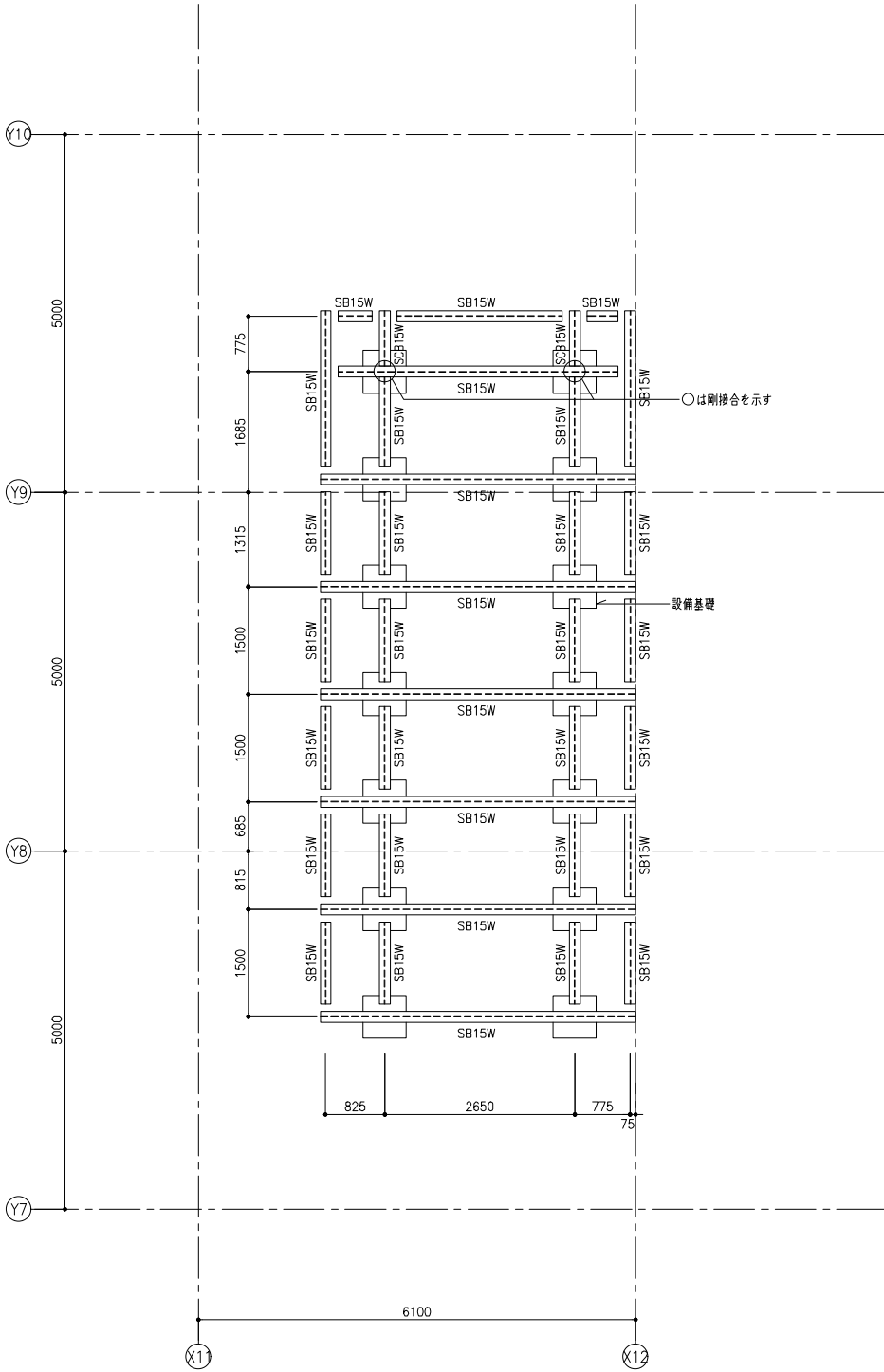
鉄骨大梁リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSN400B. H.T.B.:S10T とする。

符 号	断 面	位 置	H.T.B	B.PL. 継手	備 考
SG91	H-194x150x 6x 9	フランジ	4-M20	SPL(外): PL-9x150x290 SPL(内): 2PL-9x 60x290	e=40,p=60
		ウェブ	2-M20	SPL: PL-6x140x170	e=40,p=60
SG92	H-194x150x 6x 9	フランジ	4-M20	SPL(外): PL-9x150x290 SPL(内): 2PL-9x 60x290	e=40,p=60
		ウェブ	2-M20	SPL: PL-6x140x170	e=40,p=60
		G.PL-6	2-M20		
SCG91	H-194x150x 6x 9				

鉄骨部材リスト 特記なき限り下記による
1) 鋼材種別はSS400. H.T.B.:S10T. B.PL:SS400. A.Bolt:SS400 とする。
2) A.Bolt は、ダブルナット締め,定着長L=20d以上,先端フック付き とする。

符 号	断 面	G.PL	H.T.B	B.PL	A.Bolt	備 考
SB20	H-200x100x5.5x 8	PL-9	2-M20			
SP91	○-165.2x4.5(STK400)			PL-19x260x260	4-M16	無収縮モルタルt=30
HV91	1-M16 (クランパックル付き)	PL-9	1-M16			JIS規格品





キュービクル鉄骨架台 伏図 1/50

鉄骨部材リスト

- 特記なき限り下記による
- 1) 鋼材種別はSS400、H.T.B.:F8T、A.Bolt:SS400とする。
 - 2) A.Boltは、ダブルナット締め、定着長L=20d以上、先端フック付きとする。
 - 3) 溶融亜鉛メッキとする。

符 号	断 面	G,PL	H.T.B	B,PL	A.Bolt	備 考
SB15W	H-150x150x7x10	PL-9	2-M16	-	2-M16	
SCB15W	H-150x150x7x10	-	-	-	-	

履歴

-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

完成図作成（実注署名）

日付
監理技術者
担当者

完成図承諾

日付
監理者
担当者

法適合確認欄
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号
本図（仕様書）に記載された事項は、構
造関係規定に適合することを確認した。
構造設計一級建築士 山田 和生
証交付番号 第11279号

法適合確認欄
設備設計一級建築士
証交付番号
本図（仕様書）に記載された事項は、設
備関係規定に適合することを確認した。
設備設計一級建築士
証交付番号

製作日

2025.03.31
ファイル名

代表設計者

一級建築士
大臣登録第280701号
西 重隆
日付 2025.03.31

設計者

一級建築士
大臣登録第370830号
山田 和生
担当者

業務名称
（仮称）福智町総合体育館新築工事

図面名称
雑詳細図2-6

業務契約コード

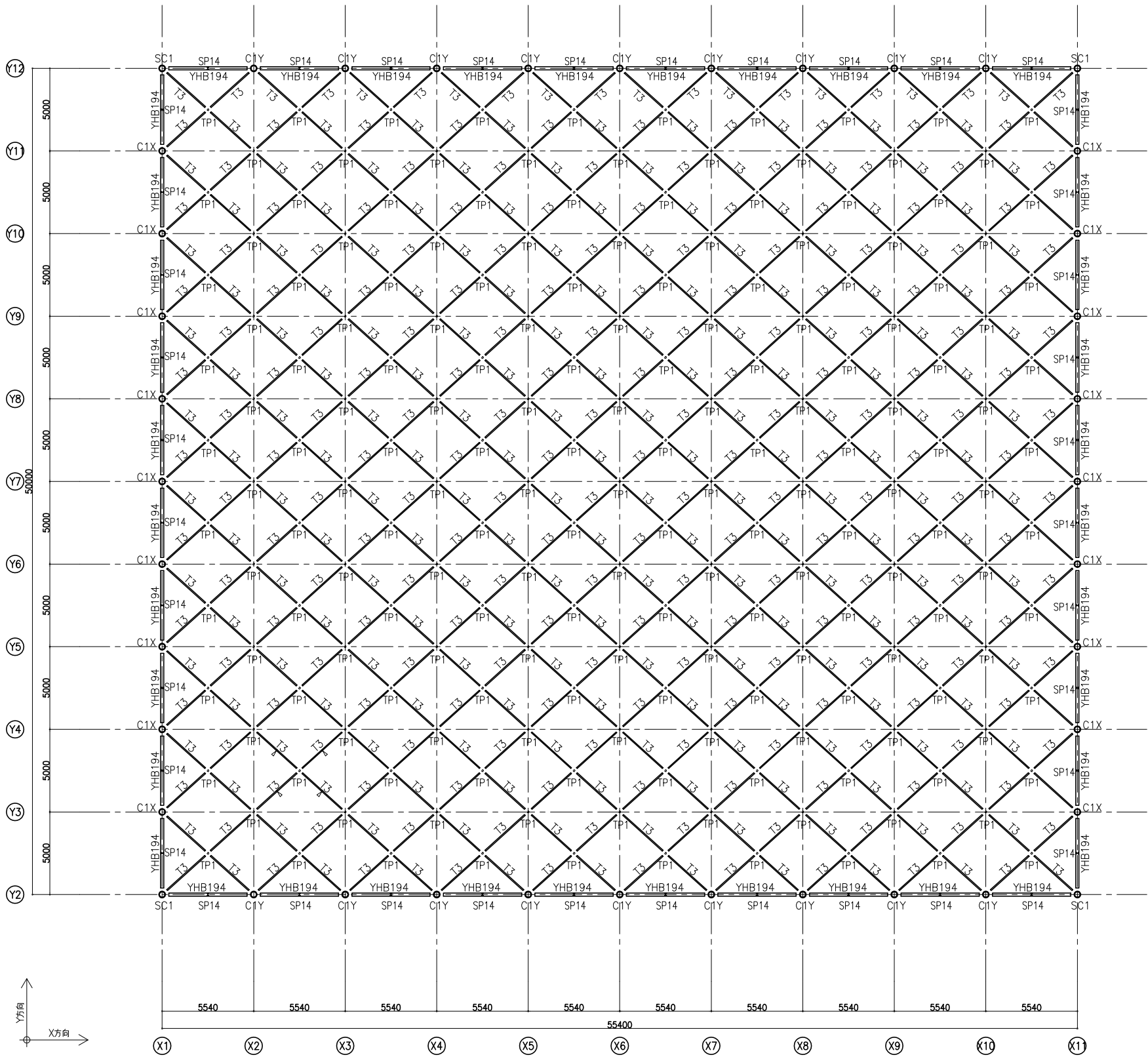
108557-02
縮尺 A1:1/50
A3:1/100

図面番号

S-201-6

管理建築士

一級建築士
大臣登録第280701号
西重隆

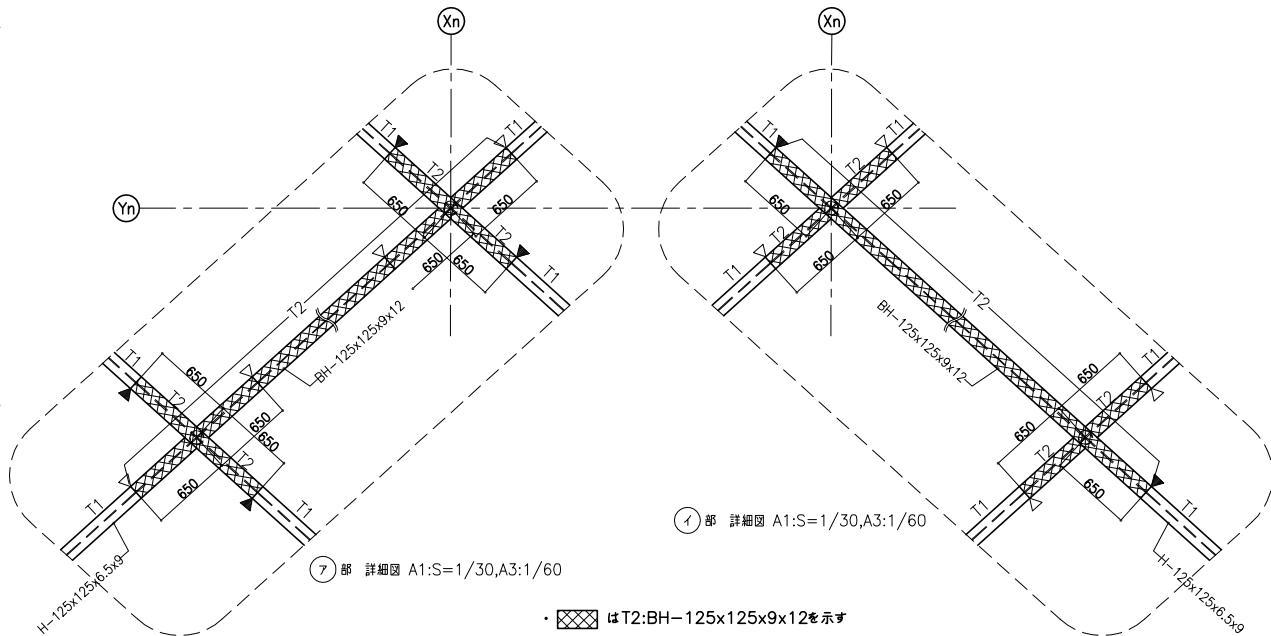
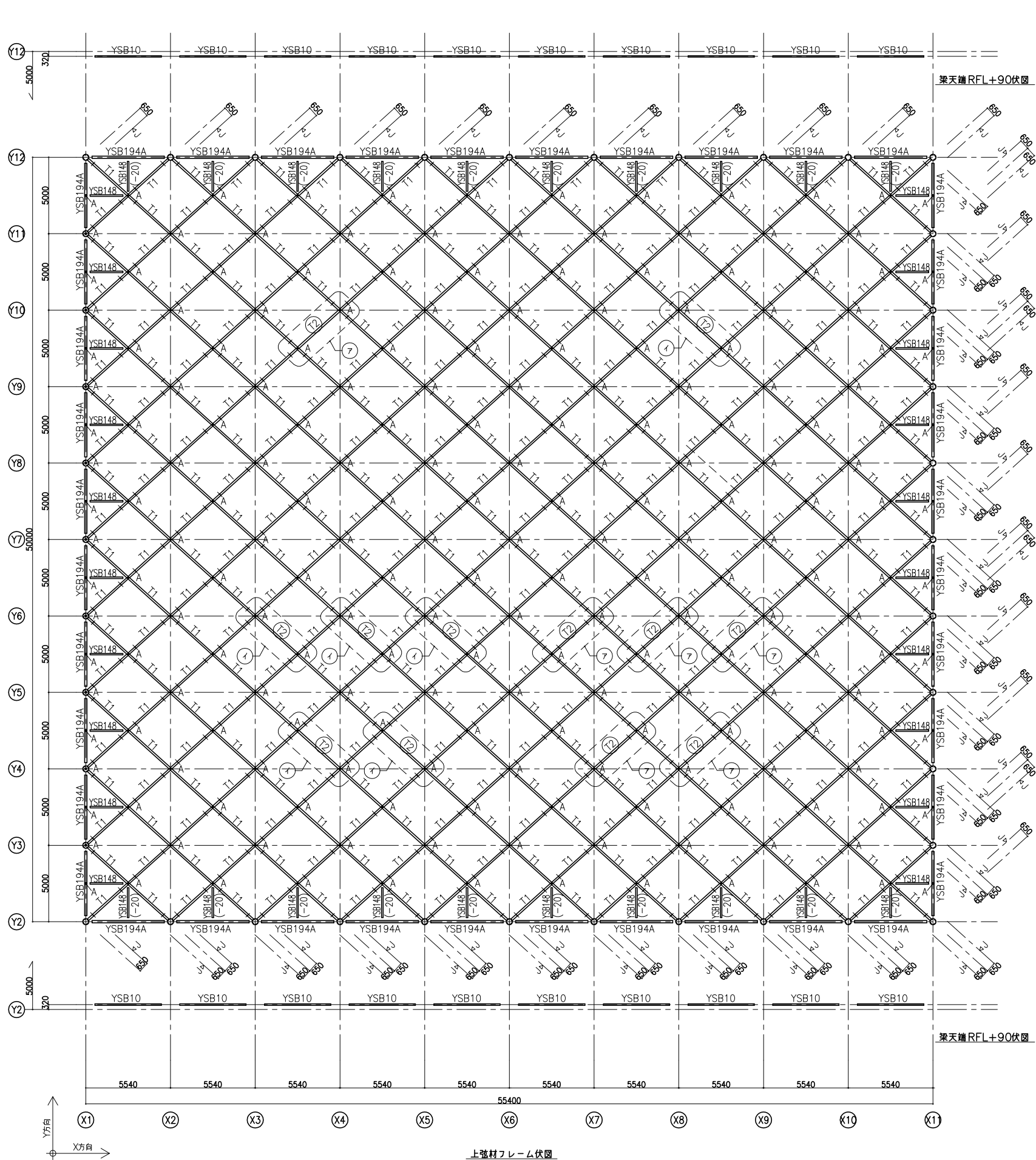


下弦材フレーム伏図

特記事項 特記無き限り下記による

・梁天端レベル＝2FL+7.675

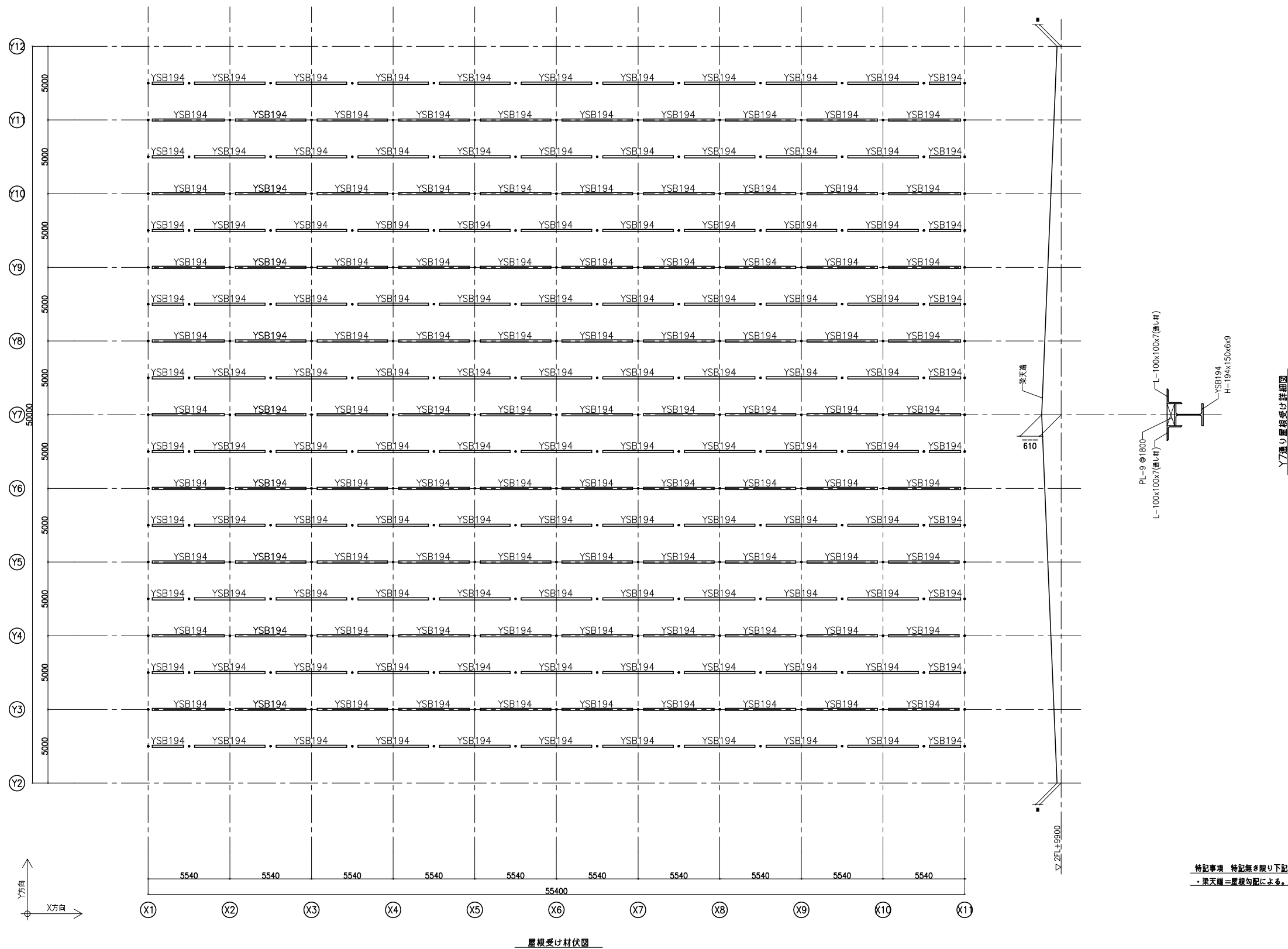
- ・施工時解析を行い品質管理、施工方針について施工計画書を作成し、監理者の承認を得ること。
 - ・鉄骨自重の梁位に対して製作又は施工キャンパーを設けること。監理者の承認を得ること。
- (参考) 屋根部最大鉛直変位 36mm

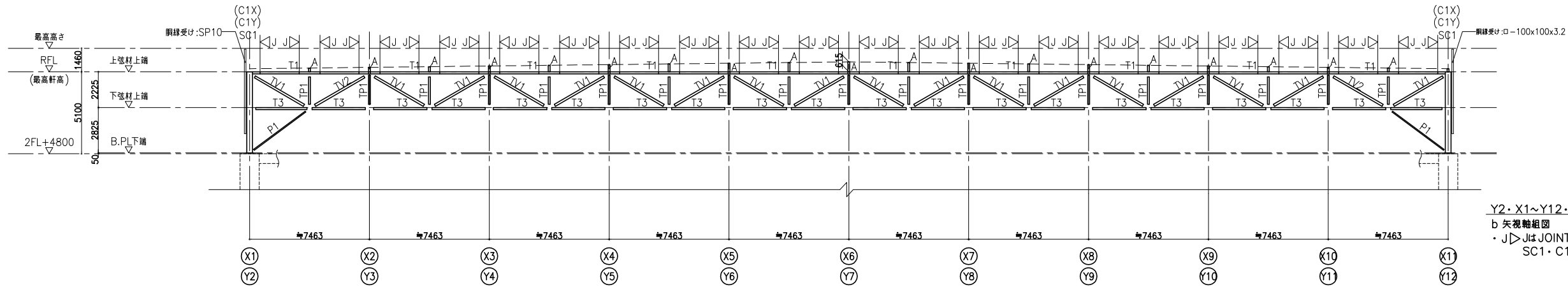


- ・ はT2:BH-125x125x9x12を示す
- ・ は現場JOINTを示す。
- ・ は現場JOINTまたは工場溶接を示す。

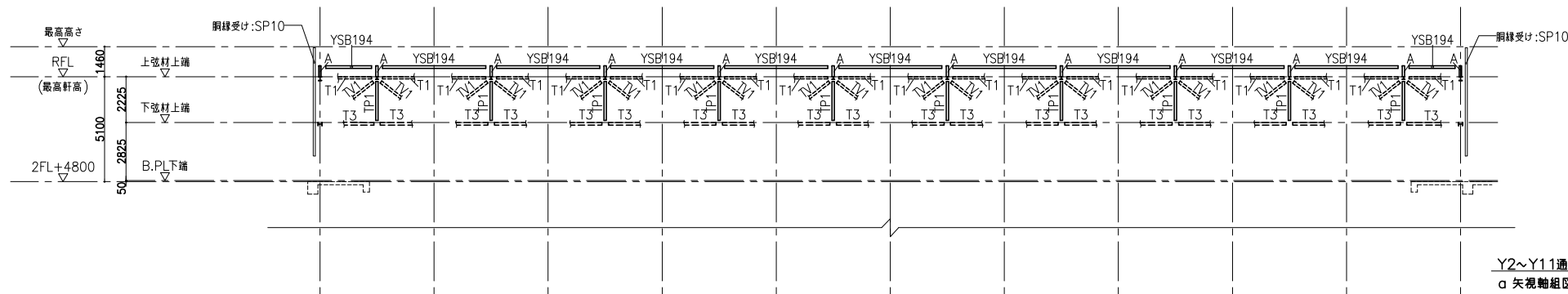
特記事項 特記無き限り下記による

- ・ 梁天端レベル=2FL+9,900
- ・ () はRFLからの梁天端レベルを示す。
- ・ 柱上端に嵩上げ材:φ-114.3x4.5(嵩上げ材:A)を設ける。
- ・ JOINT位置は柱芯から650とする。
- ・ T2のみ (T2) とする。
- ・ (T2) はT2範囲を示す。
- ・ 現場JOINT位置
- ・ 工場JOINT位置

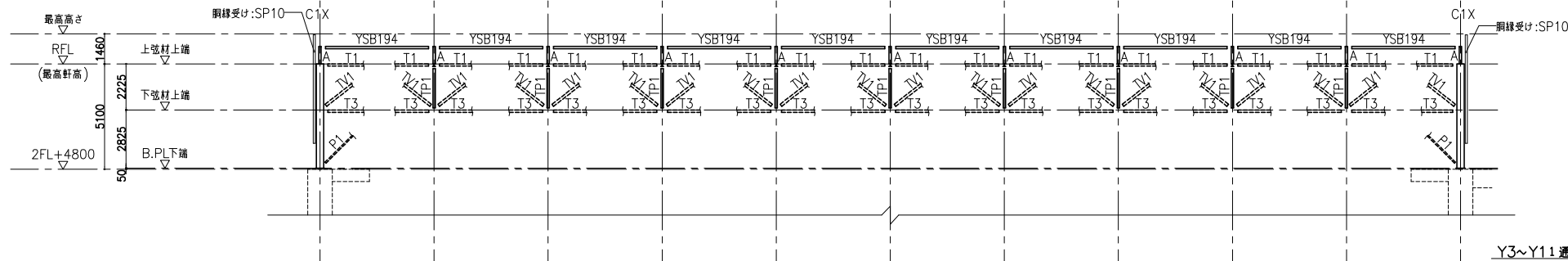




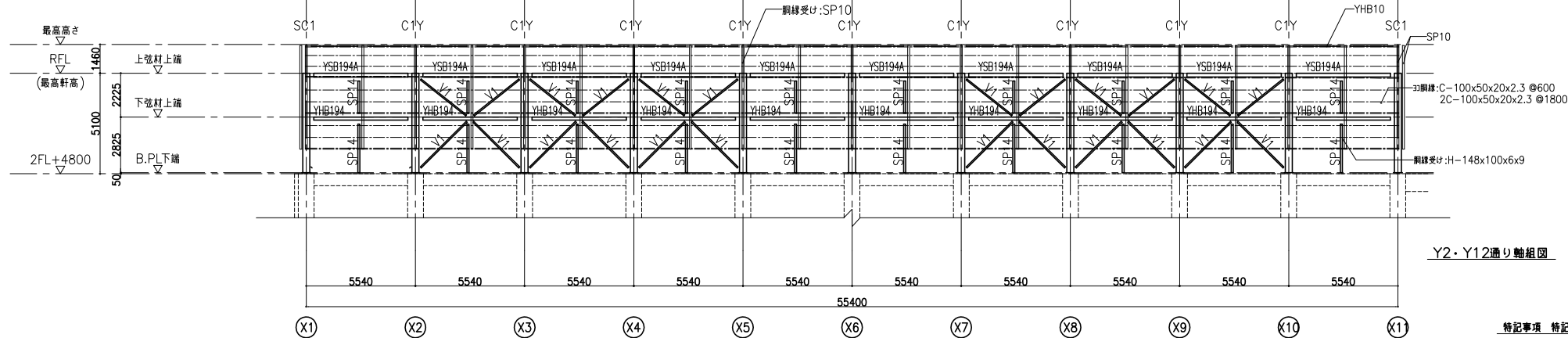
Y2・X1~Y12・X11通り軸組図
b 矢視軸組図
・J▷JはJOINT位置を示し、
SC1・C1X・C1Y・TP1芯から650とする。



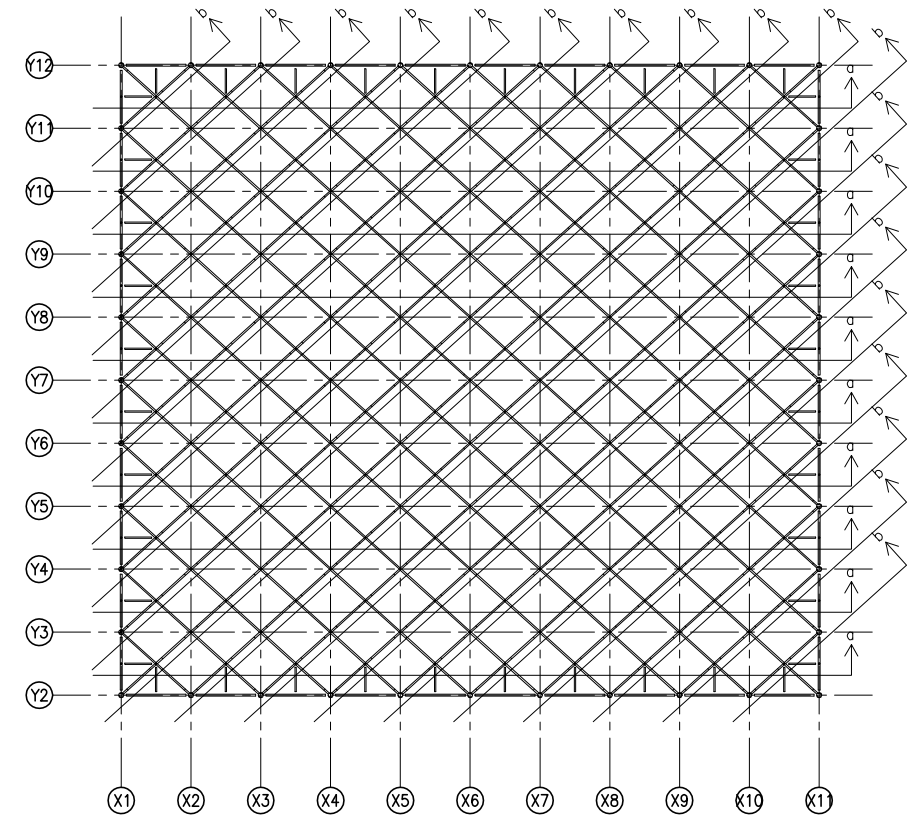
Y2~Y11通り+2500軸組図
a 矢視軸組図



Y3~Y11 通り軸組図

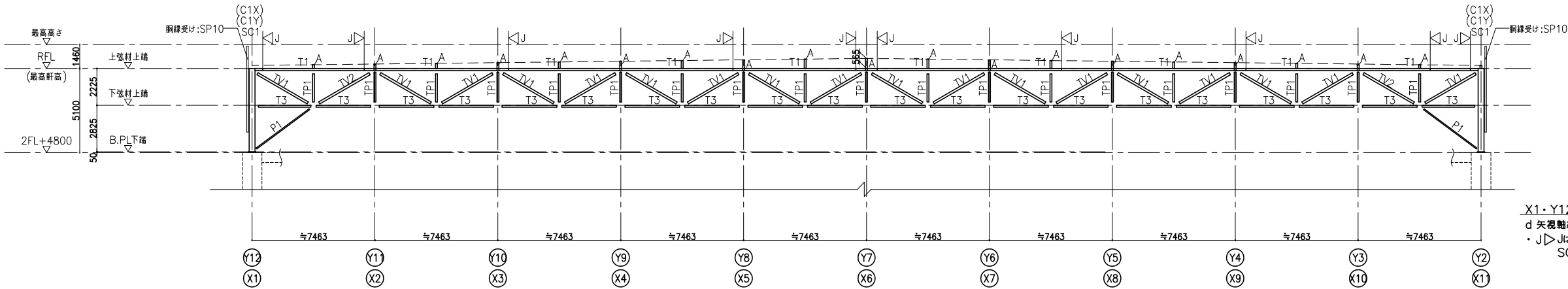


Y2・Y12通り軸組図

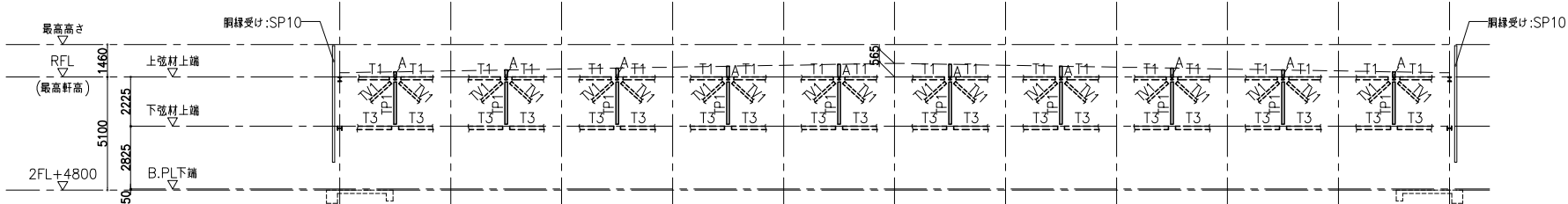


軸組図キープラン

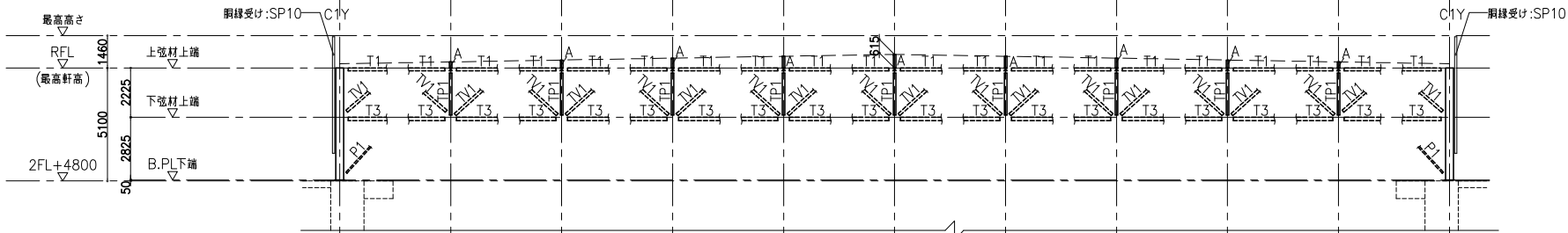
特記事項 特記無き限り下記による
・ Aは屋根受け材:φ-114.3x4.5を示す。
・ ■印は打合わせの上決定すること。
・ 小梁:T2位置は上弦材フレーム伏図による。



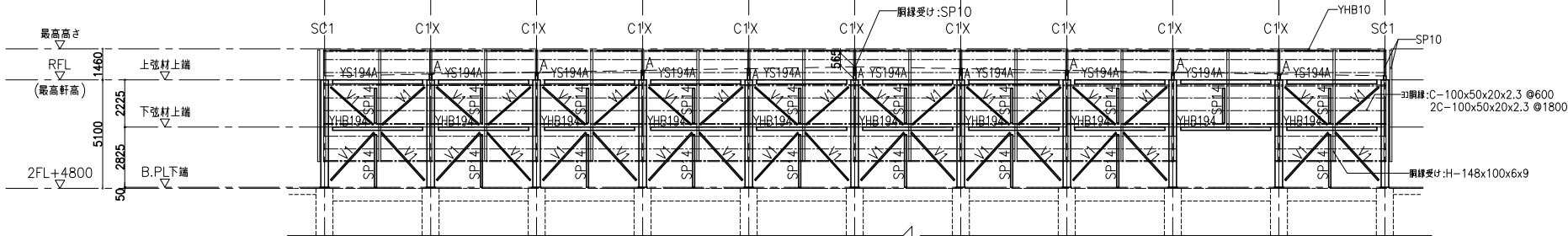
X1・Y12~X11・Y12通り軸組図
d 矢視軸組図
・ J▷ JはJOINT位置を示し、
SC1・C1X・C1Y・TP1芯から650とする。



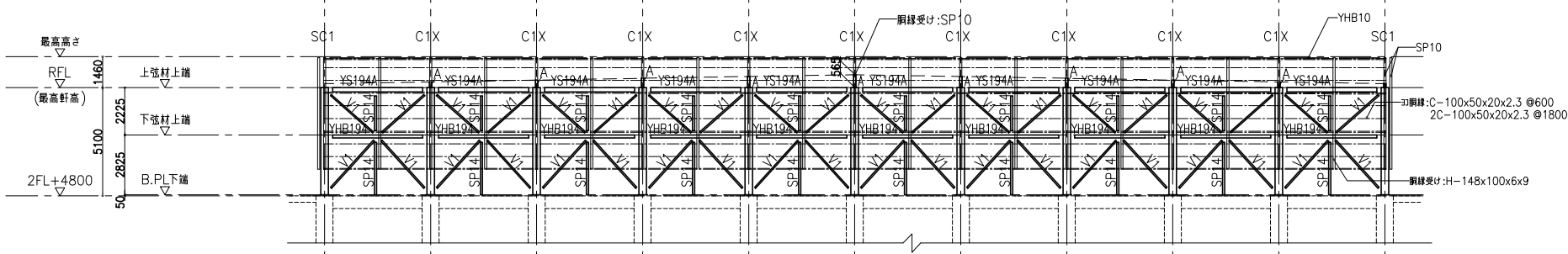
X2~X11通り+2500軸組図
C 矢視軸組図



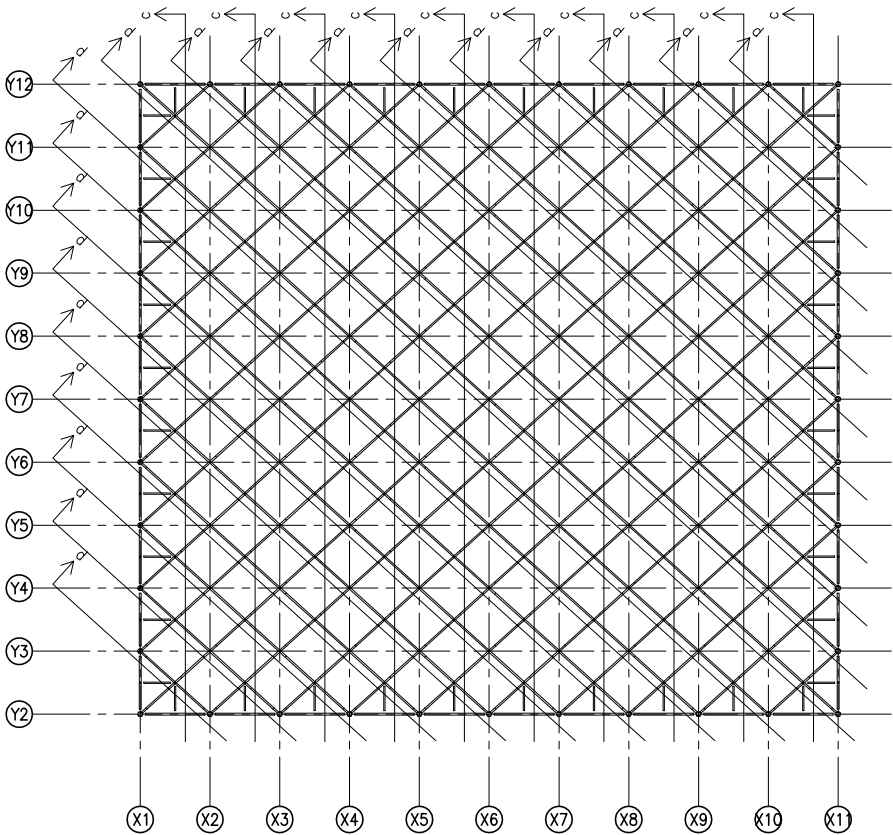
X2~X10通り軸組図



X11通り軸組図



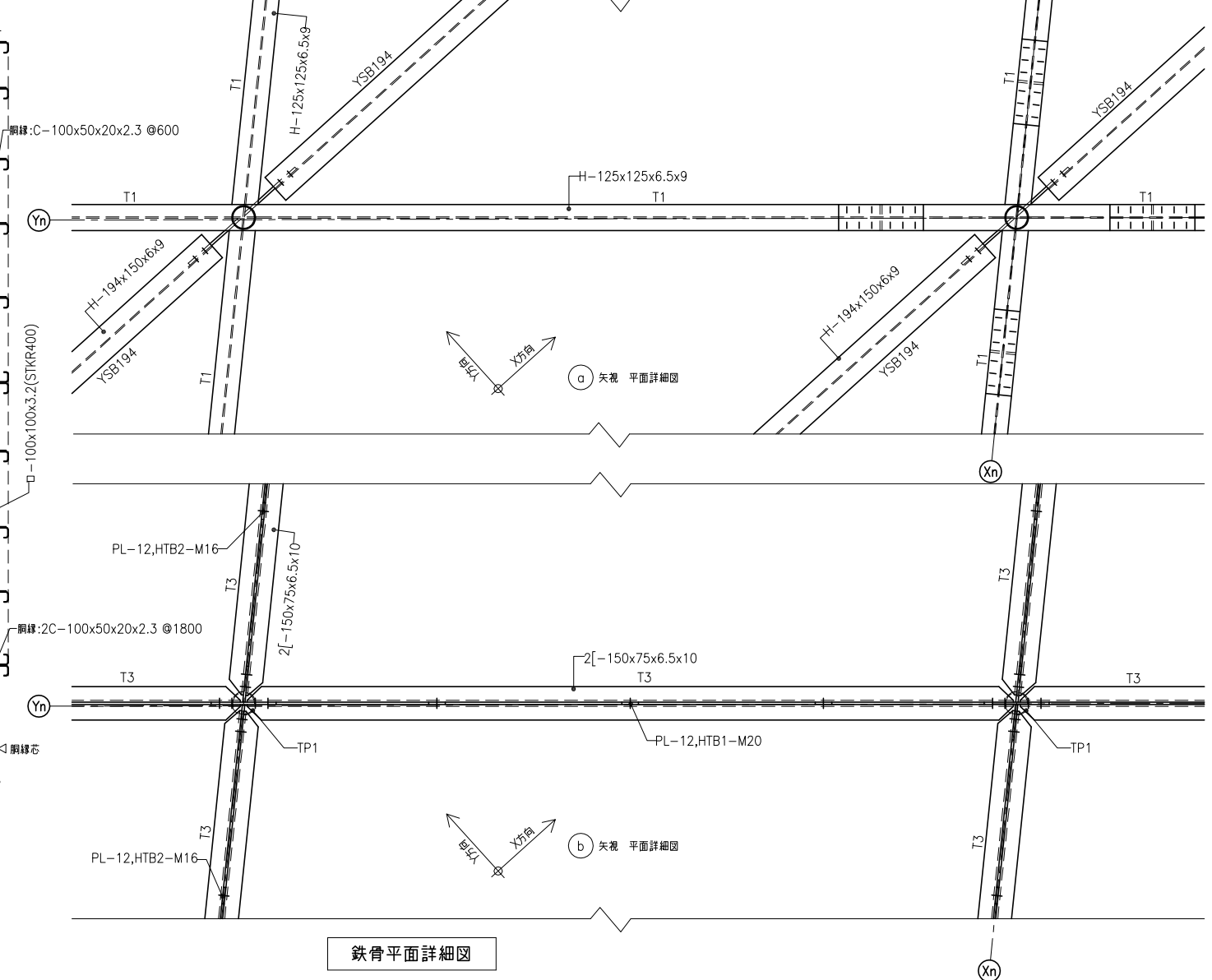
X1通り軸組図

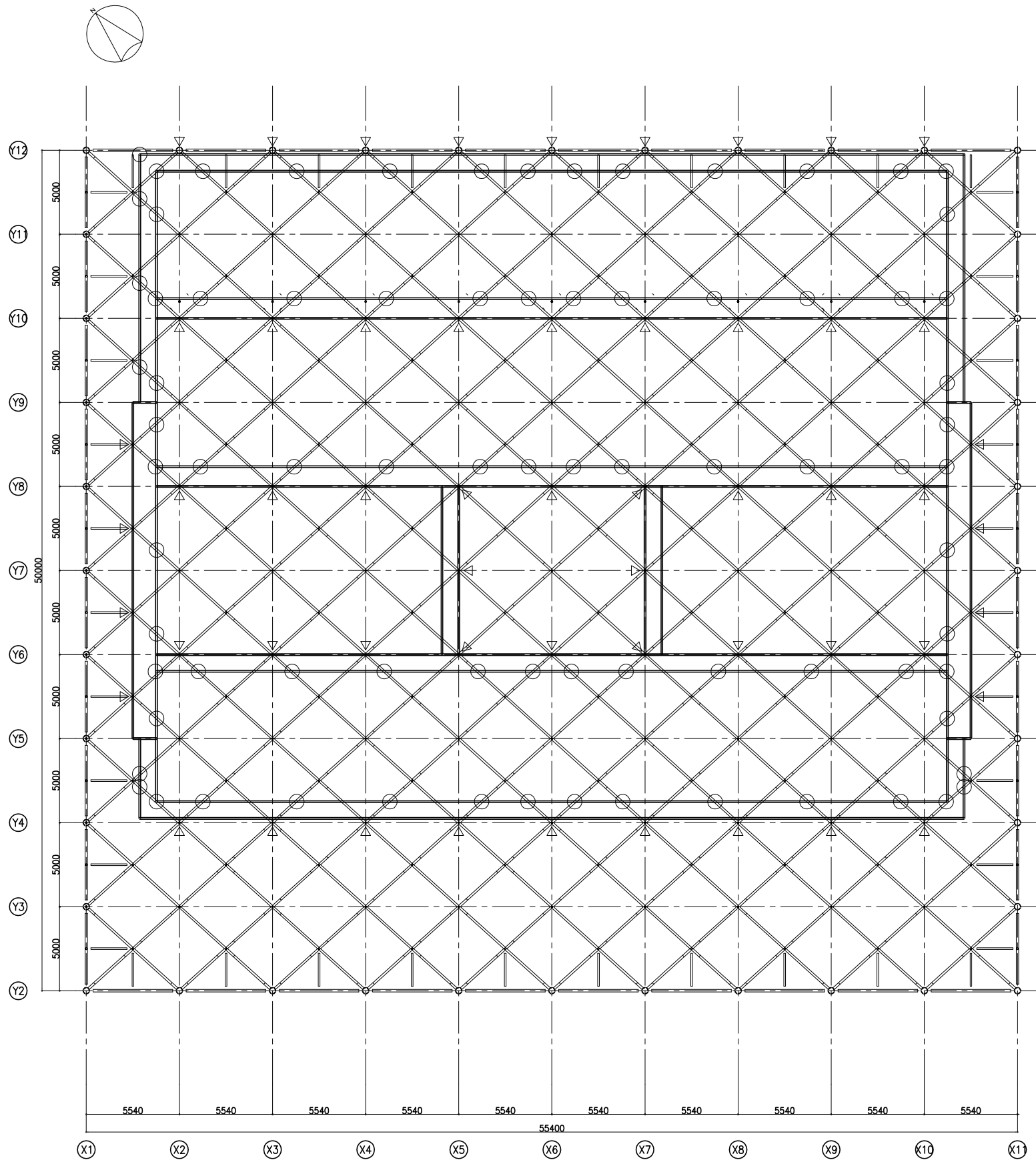


軸組図キープラン

特記事項 特記無き限り下記による
・ Aは屋根受け材:φ=114.3x4.5を示す。
・ ※印は打合わせの上決定すること。
・ 小梁:T2位置は上弦材フレーム伏隠による。

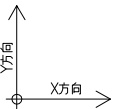
<div>石本建築事務所</div> <div>ISHIMOTO architectural & engineering firm, inc.</div>	履歴		完成図作成 (受注者名)	完成図承認	法適合確認 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号 本図(仕様書)に記載された事項は、構造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 山田 和生 証交付番号 第11279号	法適合確認 設備設計一級建築士 証交付番号 本図(仕様書)に記載された事項は、設備関係規定に適合することを確認した。 設備設計一級建築士 証交付番号	製作日 2025.03.31 ファイル名	代表設計者	設計者	業務名称	業務契約コード	図面番号 S-300-5	管理建築士 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆
	日付	監理技術者	担当者	日付	担当者	日付	代表設計者 一級建築士 大臣登録第280701号 西重隆	設計者 一級建築士 大臣登録第370830号 山田 和生	業務名称 (仮称) 福智町総合体育館新築工事	業務契約コード 108557-02	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		



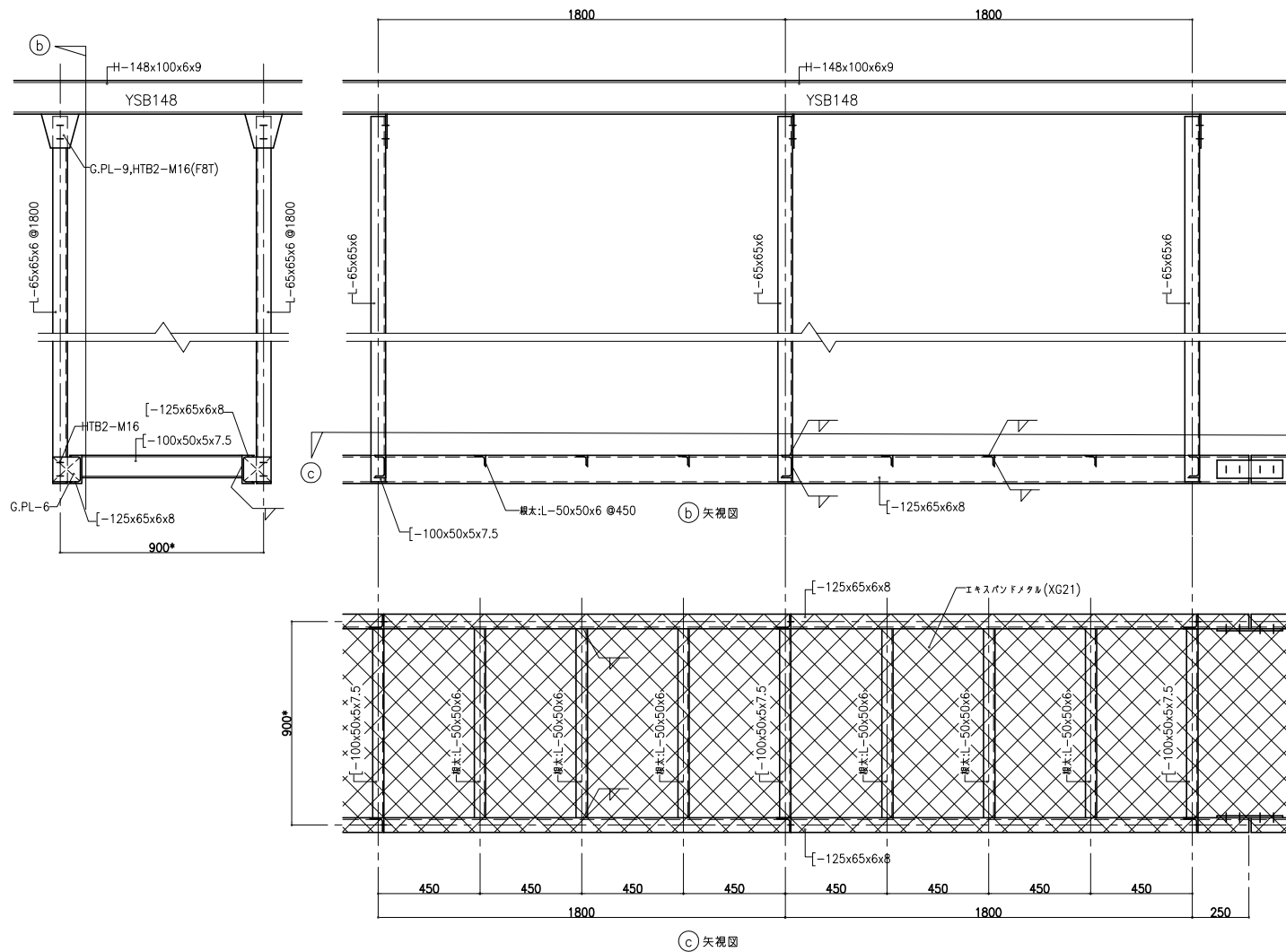
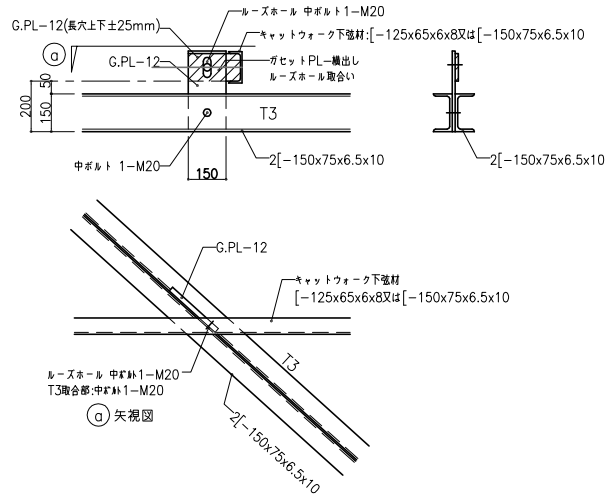


キャットウォーク（床面）部材配置及び取合い位置図

特記事項 特記無き限り下記による
・○ は (A) とする。
・▽ は東材を示す。

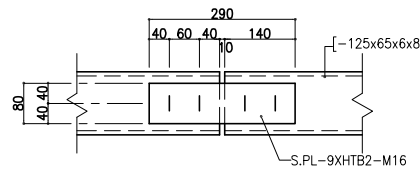


(A) (下弦材取合い)

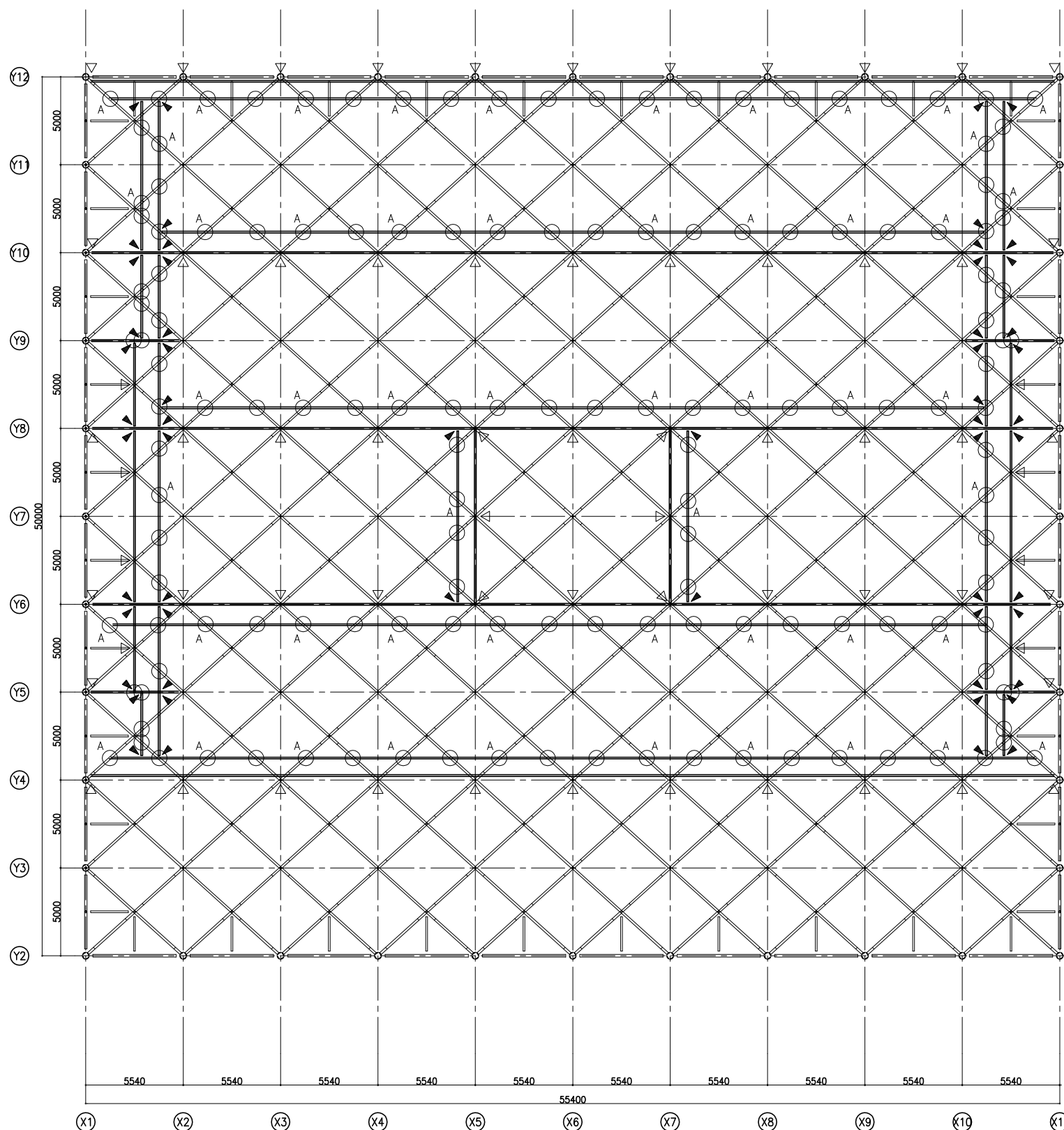


キャットウォーク要領図（一般部）

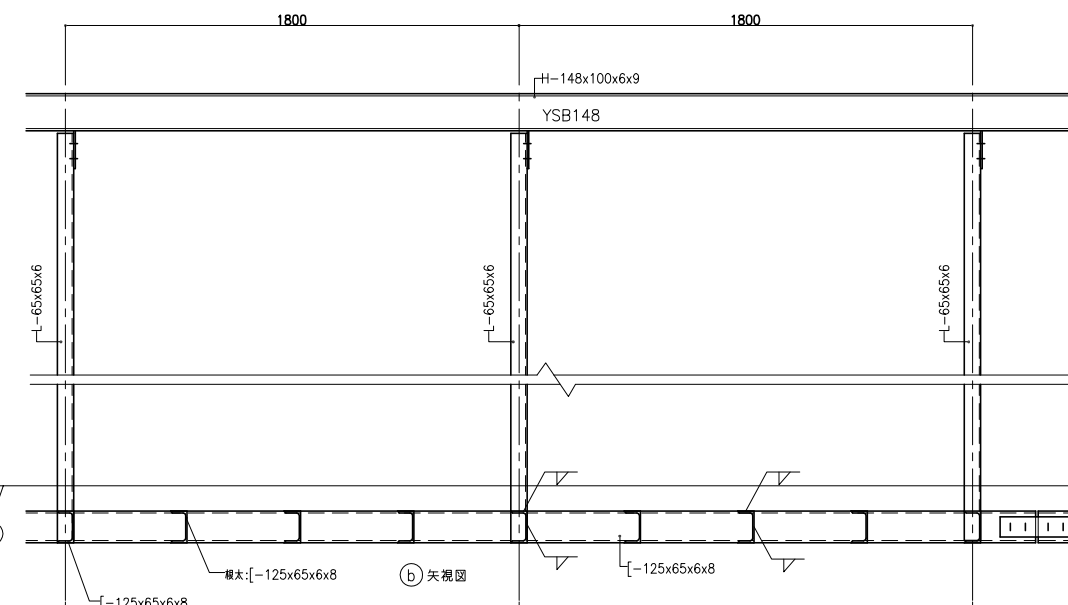
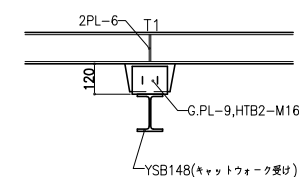
・ * 印は打ち合わせの上決定すること。



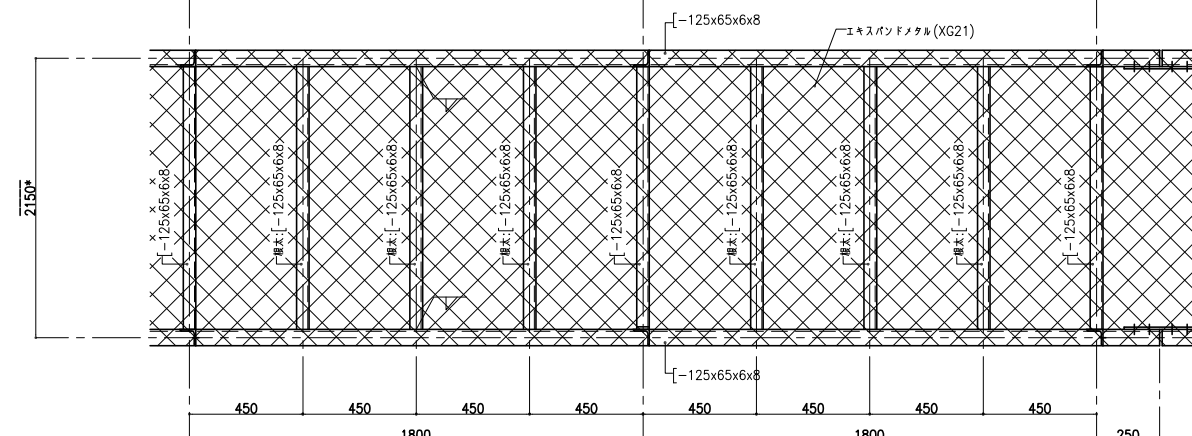
下弦材JOINT要領



- ・ $\circ A$ は (A) とする。
- ・ \circ は (B) とする。
- ・ ∇ は東材を示す。
- ・ \blacktriangle はピン接合を示す。

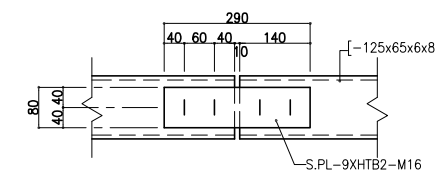


④ 矢视图



③ 矢视图

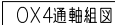
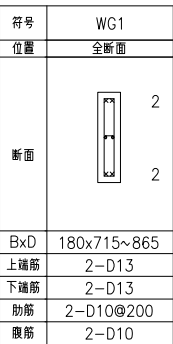
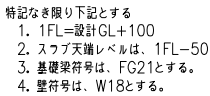
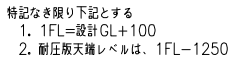
・ * 印は打ち合わせの上決定すること。

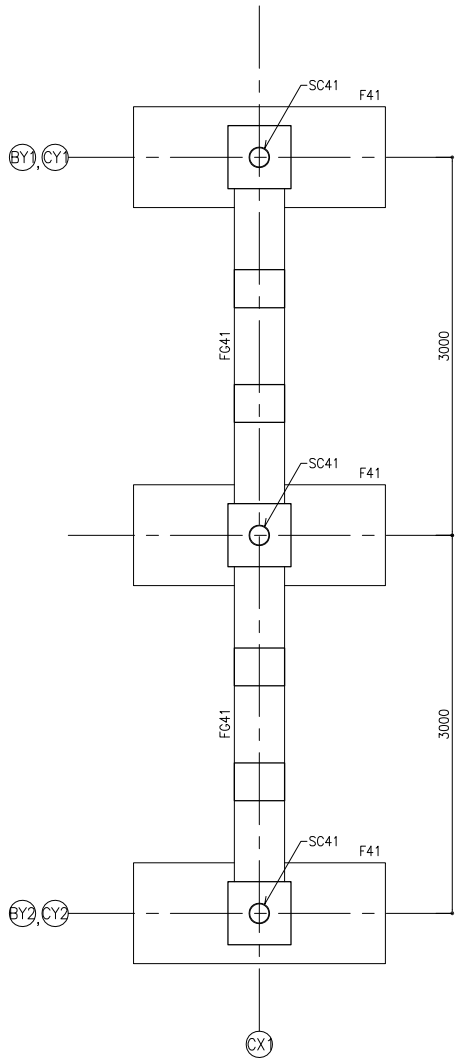


下弦材JOINT要領

特記なき限り下記とする

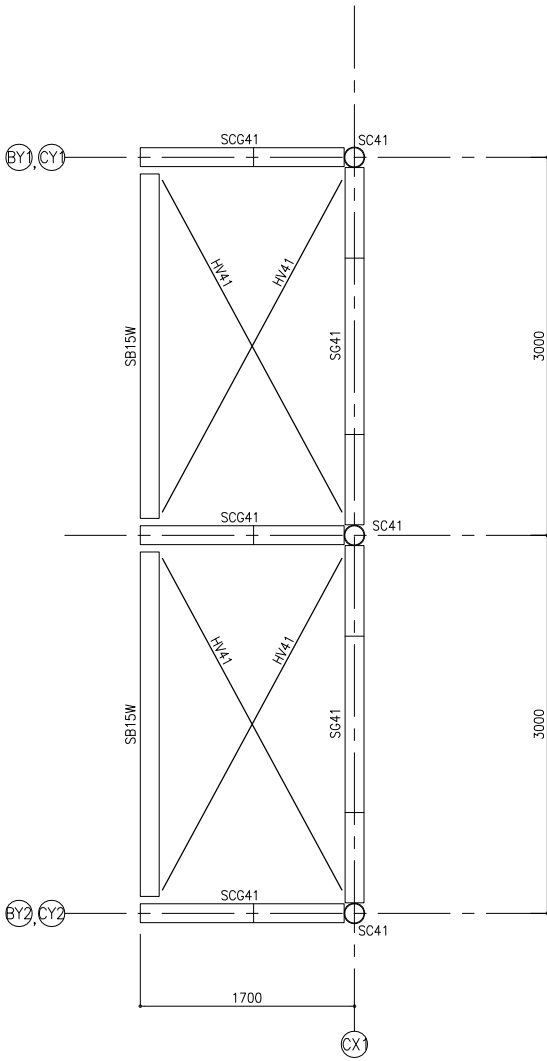
1. コンクリート：Fc24(S18)
2. SD295A(D10~D16)
3. 設計地耐力：50kN/m²
建物中央付近1カ所で、平板載荷試験を実施すること。
4. 各部の配筋要領は壁構造配筋指針(日本建築学会編)による。





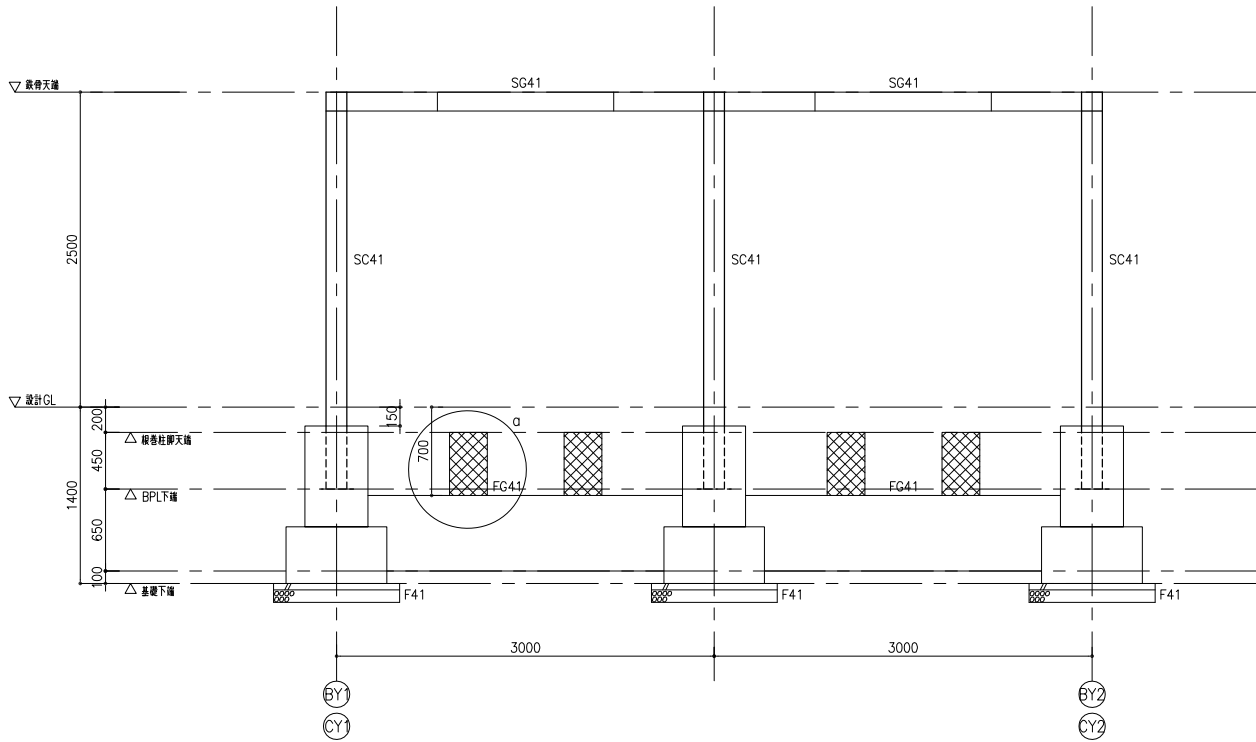
基礎伏図

- ・設計GL=H+44.77m
- ・基礎梁天端レベル=設計GL-700
- ・基礎下端レベル=設計GL-1400



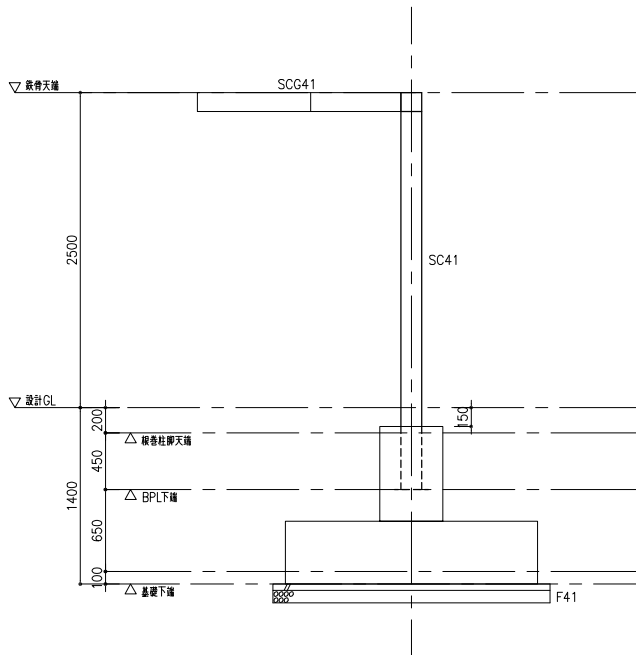
屋根床伏図

- ・梁天端レベルは設計GL+2500とする
- ・梁継手位置は、柱芯から800とする



CX1通り軸組図

- ・ は増打ちを示す



BY1,BY2,BY2+3000,
CY1,CY2,CY2+3000 通り軸組図

